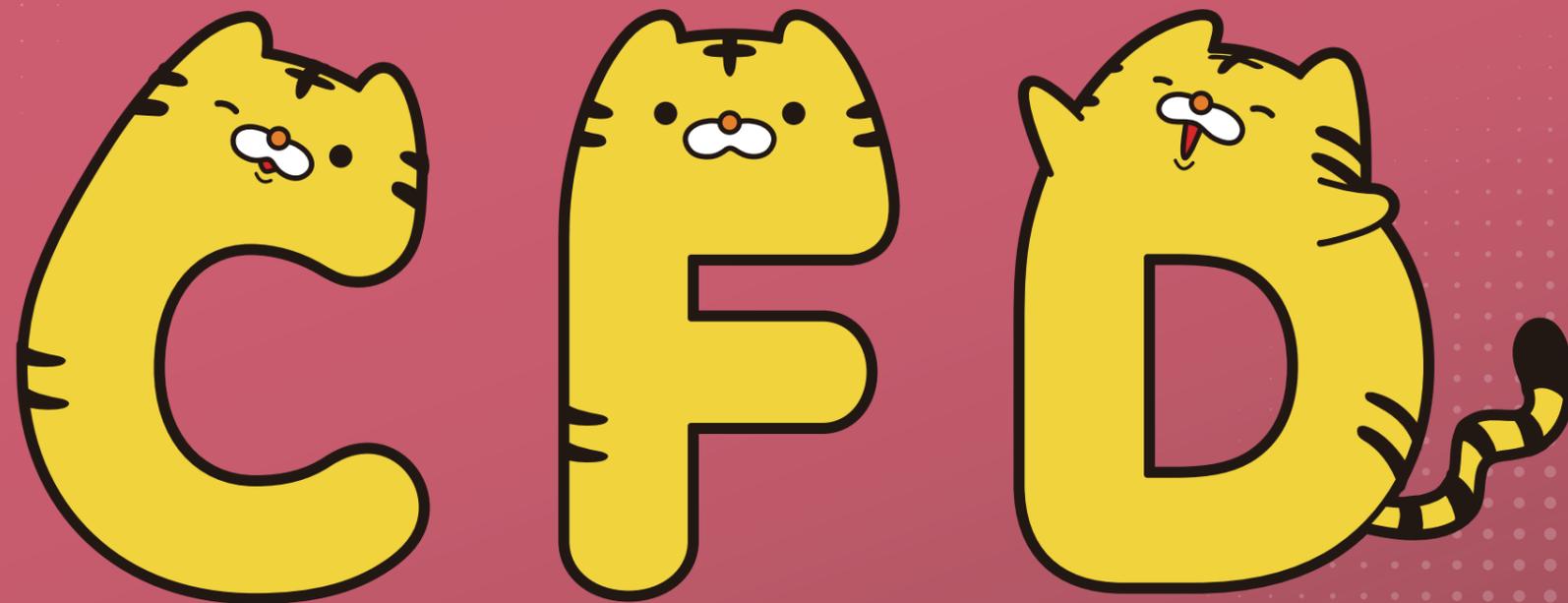


# トラリピ・パーフェクトガイド

CFDをマスターしようの巻



# 目次

## 第1章 CFDを知る

CFDって何？	4
トラリピCFDで取引できる商品	5
トラリピCFDの取引概要	8
調整額	26

## 第2章 注文する

注文方法について	34
トラリピを注文	35
トラリピで積極的にパフォーマンスを追求したい	40
通常注文(トラリピ以外の注文)	52

## 第3章 メンテナンスする

トラリピの取消	56
トラリピの再設定	58
トラリピの修正	59
レンジアウトしていないか	60
最近の決済回数	62
発注可能額が多い・少ない	63
証拠金維持率が下がってきた	65

## 応用編 FXとの運用・管理を考える

FXとの運用・管理を考える	68
---------------	----

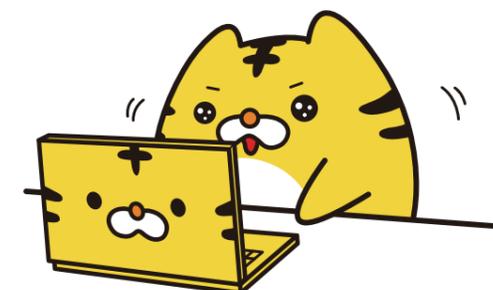
「CFDをマスターしようの巻」は……

### CFDの取引をやってみたい!方におすすめ

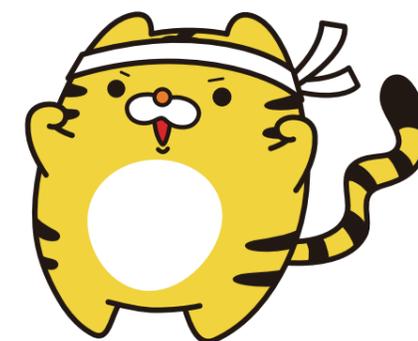
マネースクエアではFXの他にCFDの取引ができます。

- 株価指数(インデックス)に興味がある
- FX以外の取引もやってみたい
- CFDを試してみたいけどよくわからない

など、CFD取引にご興味のある方、  
取引したい方、取引するかわからないけど  
CFDを知りたいという方におすすめです。



CFDの仕組みから、  
口座のメンテナンスの方法まで、  
CFD取引の基礎を  
マスターできるがう!



マネースクエアのマスコットキャラクター  
トラリピくん

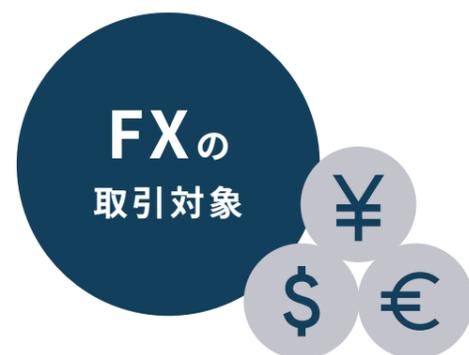
# 第1章 CFDを知る

## CFDって何？

CFDは“Contract For Difference”の頭文字をとったもので、**差金決済取引**という意味です。

差金決済とは原資産（株式や株価指数、コモディティ、通貨など）の受け渡しは行わず、売値と買値の差額をやり取りします。差額のみをやり取りなので、原資産の取引で必要になる資金全額を用意する必要はなく、効率的な資金運用が可能になります。

実はFX（外国為替証拠金取引）もCFD（差金決済取引）の一種で、原資産が株式や株価指数、コモディティなどの場合はCFD、通貨の場合はとりわけFXと呼んでいます。



米ドル／ユーロ／豪ドル／NZドル／カナダドル

など、通貨が取引対象。  
1米ドル=140円、1ユーロ=160円 といった為替レートで取引を行います。



株式／指数／債券／金／原油／小麦

など、あらゆるものが取引対象。  
これらの取引対象に連動するように設計されたレートで取引を行います。

## トラリピCFDで取引できる商品

マネースクエアのCFDは商品名「トラリピCFD」といいます。トラリピCFDでは株価指数を原資産とした5つの銘柄で取引ができます（2026年1月時点）。

株価指数とは、個々の株の値動きや株価を一定の計算式で算出し、数値化したものです。

### 株価指数の魅力

#### 複数の銘柄に分散投資が可能

株価指数は日経平均株価やS&P500（米国）など多種多様ですが、いずれもその国の株式市場で上場されている銘柄の中から一定以上の時価総額や株価のものが選ばれ、また業種（セクター）が偏らないようにバランスよく構成されているため、特定の企業動向に左右されにくく、構成する銘柄の平均的な値動きに連動した投資成果が期待できます。

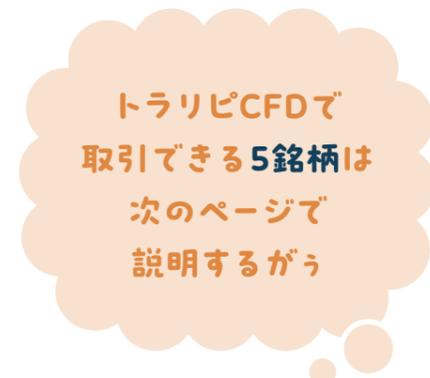
#### 値動きや投資成果がわかりやすい

主要な株価指数についてはテレビのニュースや経済番組などで日常的に取り上げられており、多くの人にとってなじみのある指標です。例えば日経平均株価に連動する株価指数に投資している場合、日経平均株価が上がれば投資をしている株価指数も同じように上昇するといったように、値動きや投資成果をイメージしやすいことも魅力のひとつです。

#### 長期投資に適している

株価指数（株式市場）は短期的には様々なニュースや経済指標、投資家の思惑などで変動しますが、長期的にみると経済（GDP）規模の拡大や成長に連動して上昇する傾向があります。また、優れた技術力を持った企業や魅力的なサービスを提供する企業の株価は、高い収益力や健全な財務基盤などを背景として上昇が期待できますが、そういった企業の多くは主要株価指数に組み入れられています。

※CFDは、株価上昇で利益獲得が期待できる「買い」からだけでなく、株価指数が下落することで利益獲得が期待できる「売り」からの取引も可能です。



# 第1章 CFDを知る



## 米国

### ▶ 米国D30

- ダウ工業株30種平均指数(NYダウ)に連動した値動きを期待
- 米国を代表する30銘柄で構成
- 金融セクターの比重が大きい

### ▶ 米国NQ100

- NASDAQ100(ナスダック100)に連動した値動きを期待
- ナスダック証券取引所の中で、金融セクターを除く流動性の高い時価総額上位100銘柄で構成
- ハイテク関連企業の比重が大きい

### ▶ 米国SP500

- S&P500に連動した値動きを期待
- 構成銘柄(約500銘柄)の時価総額は米国株式市場の約8割を網羅しており、まさに米国経済の温度計的存在



## 日本

### ▶ 日本N225

- 日経平均株価指数に連動した値動きを期待
- 市場の流動性が高い銘柄を中心にセクター間のバランスを考慮して構成
- 値がさ株の影響が強い



## 英国

### ▶ 英国F100

- FTSE100に連動した値動きを期待
- ロンドン証券取引所に上場する、時価総額上位100銘柄で構成
- グローバル企業が多く含まれており、イギリス国内のみならず、世界経済の影響を受けやすい

※英国F100はICE、それ以外はCMEに上場する各指数の先物を参照原資産とします。  
このため、各銘柄の取引時間や休場はICE、CMEによります。

# 第1章 CFDを知る

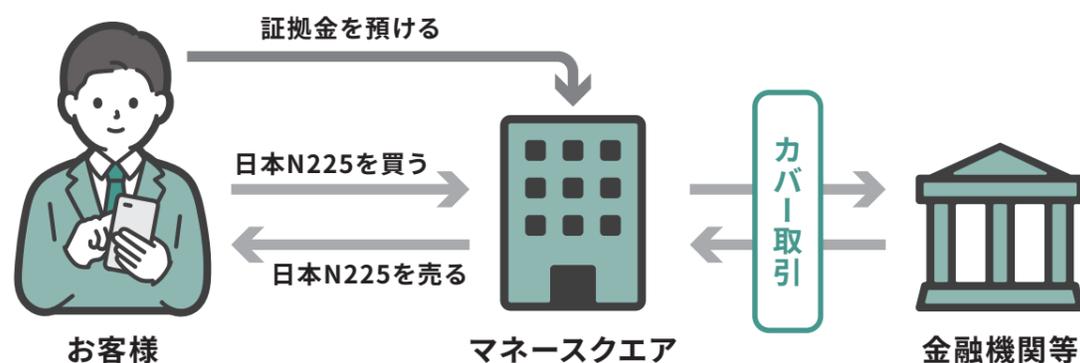
## トラリピCFDの取引概要

トラリピCFDの概要・特徴についていくつかまとめて説明します。

取引概要(トラリピCFD) | <https://www.m2j.co.jp/m2jfx-guide/cfd/outline>

### 店頭取引

CFDの取引形態は取引所取引(くりっく株365)と店頭取引がありますが、トラリピCFDは店頭取引です。店頭取引の場合、お客様と取扱会社(トラリピCFDの場合は「マネースクエア」)が相対で売買を行います。店頭取引は、各社で商品性・取引ルールを設定したり、ツールを開発したりできるので、各社でサービス内容が異なります。



### 手数料ゼロ

取引手数料は無料です。

例) 39,000円の日本N225を1Lot購入⇒40,000円で決済すると  
1,000円の利益が確定します。

利益から手数料が引かれることはありません。

ただし調整額(p.26参照)が売買損益とは別に発生します。

### 無期限

トラリピCFDで成立したポジションの決済期限は設けておりません。このため長期(無期限)で保有することができます。

※取引所CFDなどでは、決済期限が設けられている場合があります。

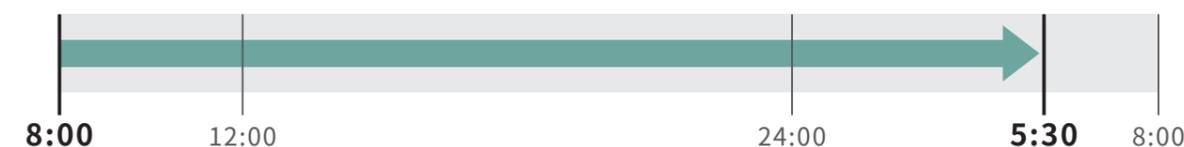


### ほぼ24時間取引

英国F100以外は午前8:00～翌午前5:30

英国F100は午前10:00～翌午前4:30

※いずれも米国夏時間の場合。



世界のマーケットは24時間、ほぼ休みなく動いています。日本が寝静まった深夜であっても、海外では様々な情報(経済指標や企業決算等)が飛び交っており、取引時間が長いCFDであれば、そういった情報がタイムリーに価格に反映されるため、取引機会が豊富にあるといえます。

### 調整額

トラリピCFDでは、金利調整額と権利調整額を合算した調整額を付与しています。金利調整額は、ポジションを保有するためのコストに相当し、売り買いの別、国内外の金利情勢などによって、お客様にとって「お受け取り」の場合もあれば「お支払い」の場合もあります。権利調整額は、株式投資における「配当」に相当し、株価指数の投資対象銘柄で配当が支払われた場合に付与されます。詳細はp.26で説明します。

# 第1章 CFDを知る

トラリピCFDの基本的な取引の仕組み、取引に必要な資金などについて説明します。



## レートの見方

下記はPC取引画面で表示されているトラリピCFDのレートパネルを抜粋したものです。レートの単位は日本N225＝円、米国D30・米国NQ100・米国SP500＝米ドル、英国F100＝英ポンドです。



### ※海外指数は為替変動リスクがあります

上記のように海外指数は米ドル・英ポンドで取引を行いますが、損益額や取引に必要な資金(証拠金額)は円換算されます。このため、米ドル/円・英ポンド/円のレート動向によって損益額・証拠金額も変わります。例えば、円安時(米ドル/円・英ポンド/円は上昇)は円換算時の損益額・証拠金額が上がります。

## 取引単位

トラリピCFDの売買単位はLot(ロット)です。どの銘柄も1Lot以上0.1Lot単位で取引できます。

## 1Lotってどれくらい?

レートに売買単位を掛けることで1Lotあたりの取引価格が算出できます。店頭CFDの場合、参照原資産(日経225先物/CMEなど)が同じであっても売買単位は各社で異なります。当社の場合、少額でお取引いただけるよう、比較的小さな売買単位で設定しています。

銘柄	日本N225	米国D30	米国NQ100	米国SP500	英国F100
売買単位	1倍	0.01倍	0.01倍	0.1倍	0.01倍

### 米国の銘柄のうち米国SP500のみ売買単位が違う理由

米国D30、米国NQ100および米国SP500はいずれも米国の株価指数を投資対象としながらも、売買単位は0.01倍、0.1倍と異なります。この違いはレート水準を考慮したもので、米国D30と米国NQ100のレートは米国SP500と比べて一桁大きいため、倍率をより小さくすることで、必要資金を引き下げて投資しやすくしています。

### 2025年12月末のレート(何れもBidレート)

米国D30	米国NQ100	米国SP500
48,088米ドル	25,239米ドル	6,847.1米ドル

米国D30と米国NQ100のレートは米国SP500と比べて一桁大きい

少額から取引できるがう



# 第1章 CFDを知る

## 取引総代金

取引価格に注文数量(Lot)をかけることで、取引総代金が計算できます。  
取引総代金は実際に売買している総金額(売買代金)を表しています。

$$\text{取引総代金} = \text{レート} \times \text{売買単位(倍)} \times \text{注文数量(Lot)}$$

### (例)日本N225の取引総代金を計算

日本N225が39,000円のときに1Lot取引する場合、  
取引総代金は

$$39,000\text{円} (39,000\text{円} \times 1\text{倍} \times 1\text{Lot})$$

と計算できます。

### (例)米国NQ100の取引総代金を計算

米国NQ100が20,000米ドルのときに1Lot取引する場合、  
取引総代金は

$$200\text{米ドル} (20,000\text{米ドル} \times 0.01\text{倍} \times 1\text{Lot})$$

です。

200米ドルの売買をしているということです。

米ドル/円=145円であれば、  
200米ドル×145円=29,000円と日本円に換算した金額が計算できます。

取引総代金は後述の「証拠金」や「レバレッジ」を  
理解するうえでの重要ポイントがう



## 取引に必要な資金(証拠金)

トラリピCFDの取引で最低限必要とされる資金は、**取引総代金の10%**です。この10%に相当する資金を「証拠金」といいます。言い換えると、預けた資金(証拠金)の10倍までレバレッジ(p.14参照)をかけられるということです。

$$\text{証拠金} = \text{取引総代金} \times \text{証拠金率(10\%)}$$

### (例)日本N225の証拠金を計算

日本N225が39,000円のときに1Lotを取引する場合、  
証拠金は

$$3,900\text{円} [\text{取引総代金} (39,000\text{円} \times 1\text{倍} \times 1\text{Lot}) \times 10\%]$$

です。

### (例)米国NQ100の証拠金を計算

米国NQ100が20,000米ドルのときに1Lot取引する場合、  
証拠金は

$$20\text{米ドル} [\text{取引総代金} (20,000\text{米ドル} \times 0.01\text{倍} \times 1\text{Lot}) \times 10\%]$$

です。

米ドル/円=145円であれば、  
20米ドル×145円=2,900円と日本円に換算した証拠金が計算できます。

※海外指数に係る取引総代金および証拠金は、為替レートの変動によって円換算額が変わりますので  
ご注意ください。

# 第1章 CFDを知る

## レバレッジ

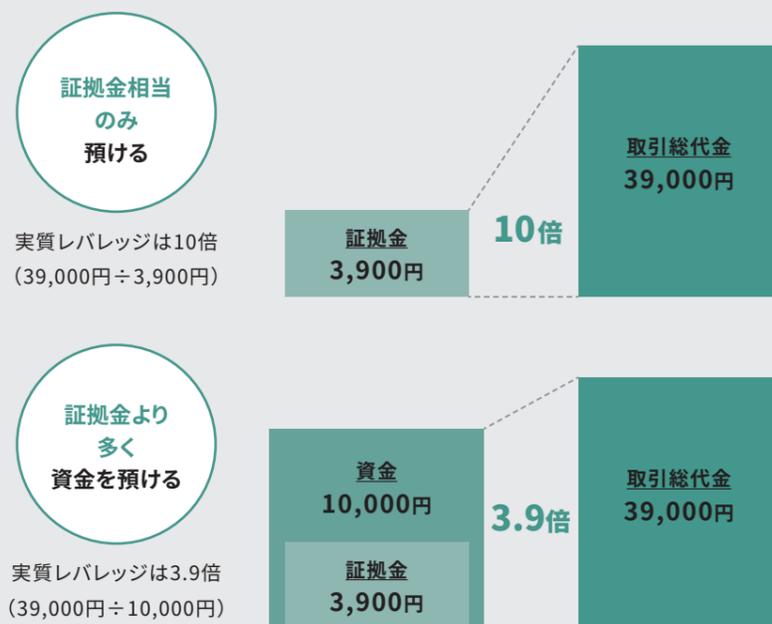
預けた資金に対して何倍の取引をしているかを表す倍率を**レバレッジ**といいます。

**トラリピCFDのレバレッジは10倍**ですが、預ける資金を増やすことで実質的なレバレッジ(当社では実質レバレッジと呼びます)を下げることができます。

実質レバレッジは10倍に近いほど、預け入れた資金を効率よく運用できているといえますが、その反面、ロスカット(p.20参照)執行のリスクが高まることになります。このため、資金効率とリスク管理に対する考え方、バランスの取り方が重要です。

### (例) 日本N225の実質レバレッジを計算

日本N225が39,000円のときに1Lotを取引する場合において、証拠金(3,900円)のみ預けた場合と証拠金より多い資金(10,000円)を預けた場合で実質レバレッジを比較します。  
※証拠金(39,000円×1Lot×1倍×10%)



自分の口座の実質レバレッジは確認できる？

取引画面には「実質レバレッジ」の項目がないため、トラリピCFD口座でどれくらいレバレッジがかかっているか、手計算する必要があります。

$$\text{実質レバレッジ} = \text{取引総代金} \div \text{有効証拠金}$$

有効証拠金は取引口座に記載されています。

取引総代金は必要証拠金(取引口座に記載されています)を利用して簡単に求められます。

p.13で証拠金は取引総代金の10%と説明しました。このため、必要証拠金の10倍が取引総代金ということです。

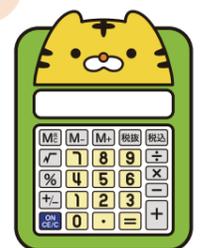
※必要証拠金についてはp.22で詳しく説明しています。

もっと簡単に求める方法として、 $1,000 \div \text{証拠金維持率}$ (トラリピCFD口座)でレバレッジを算出することもできます。

### トラリピCFD口座状況

株価指数CFD		もっと見る >
預託証拠金	500,000円	
有効証拠金	400,000円	
評価損益	-100,000円	
証拠金維持率	500%	

維持率500%だから  
実質レバレッジは2倍がう



# 第1章 CFDを知る

## 損益の計算

トラリピCFDの取引で発生する損益について説明します。

まず、損益は

### 売買損益 + 調整額

で計算されます。

売買損益は、ポジションの取得価格とレートで計算されます。

※調整額についてはp.26で説明します。

## ポジションとは

未決済の状態では保有している持ち高のことで、建玉ということもあります。ある銘柄を買った状態で保有している持ち高を「買いポジション」(買い建玉)、売った状態で保有している持ち高を「売りポジション」(売り建玉)といいます。

売買損益は買いポジション/売りポジション、銘柄で計算式が異なります。

## 買いポジションの損益計算

買ったとき(ポジションの取得価格)よりレートが下がると損失、レートが上がると利益が出ます。

### 日本N225

(売りレート - 買いポジション取得価格) × 保有数量(Lot) × 売買単位(1倍)

### 米国D30、米国NQ100

(売りレート - 買いポジション取得価格) × 保有数量(Lot) × 売買単位(0.01倍) × 米ドル/円レート

### 米国SP500

(売りレート - 買いポジション取得価格) × 保有数量(Lot) × 売買単位(0.1倍) × 米ドル/円レート

### 英国F100

(売りレート - 買いポジション取得価格) × 保有数量(Lot) × 売買単位(0.01倍) × 英ポンド/円レート

## 売りポジションの損益計算

売ったとき(ポジションの取得価格)よりレートが上がると損失、レートが下がると利益が出ます。

### 日本N225

(売りポジション取得価格 - 買いレート) × 保有数量(Lot) × 売買単位(1倍)

### 米国D30、米国NQ100

(売りポジション取得価格 - 買いレート) × 保有数量(Lot) × 売買単位(0.01倍) × 米ドル/円レート

### 米国SP500

(売りポジション取得価格 - 買いレート) × 保有数量(Lot) × 売買単位(0.1倍) × 米ドル/円レート

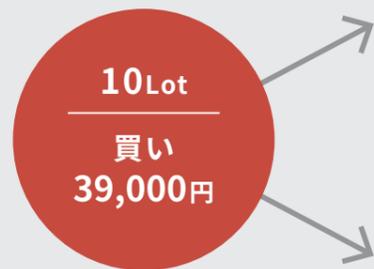
### 英国F100

(売りポジション取得価格 - 買いレート) × 保有数量(Lot) × 売買単位(0.01倍) × 英ポンド/円レート

# 第1章 CFDを知る

## (例)日本N225の損益を計算

日本N225=39,000円で10Lot買いポジションを保有



40,000円で売り決済  
10,000円の利益  
計算式:  $(40,000円 - 39,000円) \times 10Lot \times 1倍$

38,000円で売り決済  
10,000円の損失  
計算式:  $(38,000円 - 39,000円) \times 10Lot \times 1倍$

日本N225=40,000円で10Lot売りポジションを保有



41,000円で買い決済  
10,000円の損失  
計算式:  $(40,000円 - 41,000円) \times 10Lot \times 1倍$

39,000円で買い決済  
10,000円の利益  
計算式:  $(40,000円 - 39,000円) \times 10Lot \times 1倍$

## (例)米国D30の損益を計算\*

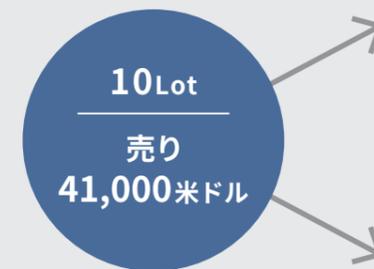
米国D30=40,000米ドルで10Lot買いポジションを保有  
(米ドル/円=145円で円換算します)



40,100米ドルで売り決済  
1,450円の利益  
計算式:  $(40,100米ドル - 40,000米ドル) \times 10Lot \times 0.01倍 \times 145円$

39,900米ドルで売り決済  
1,450円の損失  
計算式:  $(39,900米ドル - 40,000米ドル) \times 10Lot \times 0.01倍 \times 145円$

米国D30=41,000米ドルで10Lot売りポジションを保有  
(米ドル/円=145円で円換算します)



41,100米ドルで買い決済  
1,450円の損失  
計算式:  $(41,000米ドル - 41,100米ドル) \times 10Lot \times 0.01倍 \times 145円$

40,900米ドルで買い決済  
1,450円の利益  
計算式:  $(41,000米ドル - 40,900米ドル) \times 10Lot \times 0.01倍 \times 145円$

\*海外指数については決済時の円換算レートにより円転され、損益は「円」で確定します。

# 第1章 CFDを知る

## 取引に必要な資金(ロスカット)

取引に必要な最低額の資金は「証拠金」ですが、CFDの取引では買った後(売りから始まる取引の場合は売った後)、決済されるまでの間、リアルタイムレートで損益(評価損益)が計算され、それにより時価の残高が変動します。

時価の残高のことを、有効証拠金といいます。

$$\text{有効証拠金} = \text{預託証拠金} + \text{評価損益}$$

$$\text{預託証拠金} = (\text{入金額} - \text{出金額}) + \text{実現損益}$$



預託証拠金は、その時点で現金として口座でお預かりしている資金のことです。

※実現損益は、売買等によって確定した損益のことです。

### レートの動きと有効証拠金の推移

(例) 5,000円の資金で日本N225を39,000円で1Lot買っている

レート	39,000円の時	38,000円の時	30,000円の時
評価損益	0円	-1,000円	-9,000円
有効証拠金	5,000円	4,000円	-4,000円

有効証拠金が  
マイナス

日本N225 = 30,000円となった場合、評価損益は-9,000円となり、預けた資金(5,000円)よりも評価損が大きく、有効証拠金がマイナスとなります。

CFD取引はレバレッジをかけて少ない資金で取引できる反面、レートの動きによっては、預けた資金よりも損失額が大きくなってしまふ可能性があります。

このように、損失額が際限なく膨らむ前に、一定の範囲内で抑えて強制的に取引を終了させる仕組みがロスカット制度です。

トラリピFX/CFDでは  
証拠金維持率が100%を下回った時点で、  
ロスカットが執行するがう



- ロスカットは損失の限定を保障するものではなく相場環境によってはお預かり資金以上の損失が発生する場合があります。
- 証拠金維持率判定は一定間隔で行っており、計算中または再計算までに相場環境が急変した場合、損失が膨らむ場合があります。
- ロスカットはポジション毎に成行で注文執行されるため、成立時間や成立価格が異なる場合があります。
- トラリピFXとトラリピCFDの口座はそれぞれ維持率が算出され、ロスカット判定も各口座で行われます。

$$\text{証拠金維持率}(\%) = \text{有効証拠金} \div \text{必要証拠金} \times 100$$

つまり証拠金維持率は

- 有効証拠金が減少
- 必要証拠金が増加

すると低下し、有効証拠金 < 必要証拠金となると100%を下回るようになります。

# 第1章 CFDを知る



## Aさんの取引

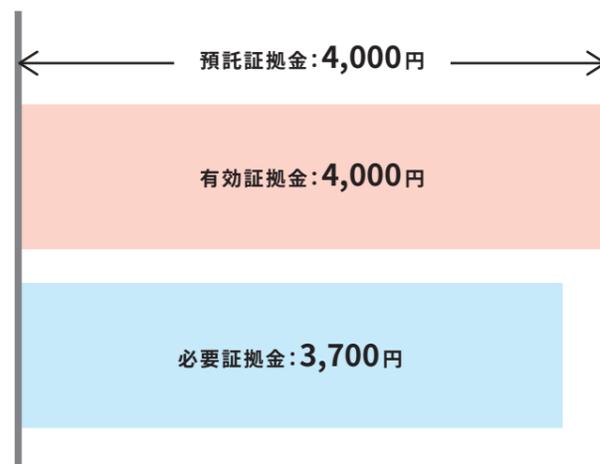
日本N225 = 37,000円 のときに 1Lot 買います。

この取引を行うためには証拠金3,700円 (37,000円 × 1倍 × 1Lot × 10%) 以上の資金を口座に入れておく必要がありますので、Aさんは4,000円を口座に入れて、1Lot買いました。

ポジションを維持するための証拠金は必要証拠金といいます。

必要証拠金はリアルタイムレートで計算されます。

### Aさんの口座状況内訳



証拠金維持率: 108%

有効証拠金 (4,000円) ÷  
必要証拠金 (3,700円) × 100

ポイント

必要証拠金に対して有効証拠金が大きいくほど、証拠金維持率は高くなり、ロスカット執行のリスク(可能性)が低下します。

日本N225 = 36,900円に下がりました。



買ったときと比べレートが下がったので、  
-100円 [(36,900円 - 37,000円) × 1倍 × 1Lot]  
評価損が発生します。

預託証拠金 (4,000円) に評価損を加味すると有効証拠金が3,900円と算出されます。

必要証拠金はリアルタイムレートで計算されますので、  
3,690円 (36,900円 × 1倍 × 1Lot × 10%) となります。



証拠金維持率: 105%

有効証拠金 (3,900円) ÷  
必要証拠金 (3,690円) × 100

100%に近いから、  
ロスカットになりそうがう



# 第1章 CFDを知る

日本N225 = 36,650円にさらに下がりました。



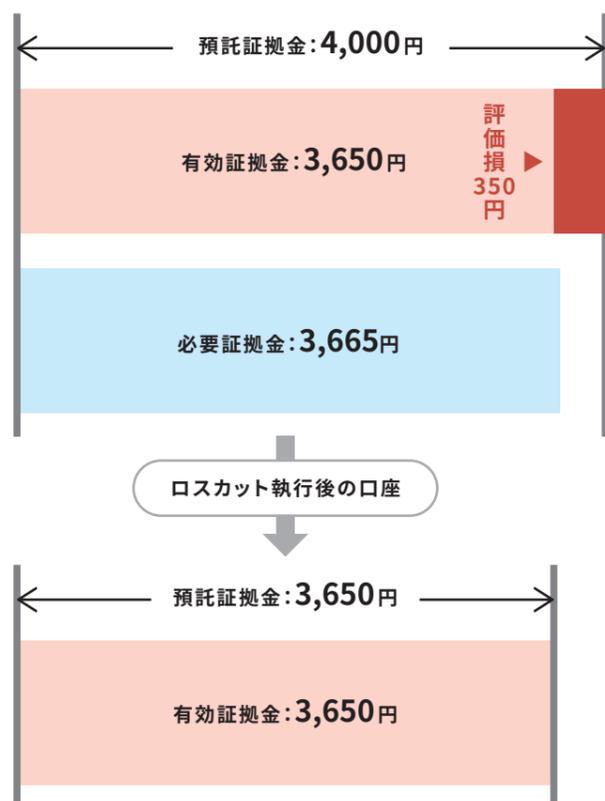
さらにレートが下がりました。

このとき、評価損は-350円[(36,650円-37,000円)×1倍×1Lot]、有効証拠金は3,650円となりました。

必要証拠金は3,665円(36,650円×1倍×1Lot×10%)なので、**有効証拠金<必要証拠金**となります。

こうなると、証拠金維持率は**99%**(3,650円÷3,665円×100)となり、**100%を下回ったため、ロスカットが執行されます。**

※実際は100%を僅かでも下回った時点でロスカットが執行されます。



**有効証拠金<必要証拠金**になると  
証拠金維持率は**100%を下回る**

証拠金維持率**99%**  
**ロスカット**が執行される

日本N225のポジションが  
決済され(損失が確定)、  
3,650円が口座に残ります。

## ロスカットされないように資金は多ければ多いほどいい?

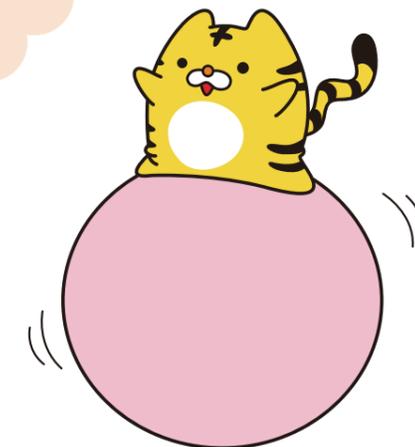
当初、3,700円の必要証拠金に対して4,000円の資金(有効証拠金)で取引を始めたので、その時の実質レバレッジは約9倍(37,000円÷4,000円)と高く、トラリピCFDの最大レバレッジの10倍に近い状態でした。

この場合、仮に1万円の資金(有効証拠金)で取引を始めていれば、その時の実質レバレッジは3.7倍(証拠金維持率は270%)となり、ロスカットの可能性を低下させることができたこととなります。

一方で、実質レバレッジが低い場合、ロスカットまでの余力は十分ありますが、取引に使っていない資金が多く、「資金効率が悪い」ことが懸念されます。

このため、資金効率・ロスカットに対するリスクのバランスをとって取引量や資金を決めるとよいでしょう。

ロスカットのリスクを十分理解  
したうえで、CFDのメリットでもある  
レバレッジを効かせた取引を  
考えてみるがう



# 第1章 CFDを知る

## 調整額

CFDでポジションを持つと、日々調整額が累積します。

### 調整額

トラリピCFDでは金利調整額と権利調整額を合算して、調整額と呼んでいます。ポジションが成立した翌営業日の取引終了時点から日々付与され、評価損益に累積します。

※金利調整額、権利調整額の詳細は後述します。

日本N225 のポジション	評価損益	評価損益の内訳	(ポジション損益)	(調整額)
	+998円		+1,000円	-2円

### いつから付くの？

ポジションが成立した翌営業日の取引終了時刻です。

※取引終了後のメンテナンス中に付与されます。

		ポジション保有中 →			
	ポジション成立	1日目	2日目	3日目	4日目
調整額(1日あたり)	-2円	-2円	-2円	-2円	-2円
累計	0円	-2円	-4円	-6円	-8円

▲ポジション成立日は調整額が付与されません

### 金額はどこで確認できる？

調整額カレンダーで確認できます。

調整額カレンダー | <https://www.m2j.co.jp/m2jfx-guide/cfd/adjustment>

### 調整額カレンダー(米国NQ100)

米国NQ100	今月分表示	先月分表示		
日付	曜日	付与日数	売・調整額 (1Lotあたり)	買・調整額 (1Lotあたり)
2025/12/25	木	1日分	1.3円	-6.9円
2025/12/26	金	1日分	1.3円	-6.8円

▲  
12/26の取引終了時刻において  
売りポジションは+1.3円、  
買いポジションは-6.8円累積します。  
(1Lotあたり)

調整額について詳しく知りたい人は  
次のページもチェックがう。



# 第1章 CFDを知る

## 金利調整額って何？

金利調整額とはファンディング(資金調達)コストに相当する金額です。ポジションを保有した翌営業日から日々付与されます。

原則として、

買いポジションに対しては**マイナス**(お客様のお支払い)

売りポジションに対しては**プラス**(お客様のお受け取り)

となります。

### 調整額カレンダー(米国D30)

土・日・月分が付与されるため、3日分となっています。

日付	曜日	付与日数	売・調整額 (1Lotあたり)	買・調整額 (1Lotあたり)
2025/12/22	月	3日分	7.5円	-39.3円
2025/12/23	火	1日分	2.4円	-13円
2025/12/24	水	1日分	2.4円	-12.9円
2025/12/25	木	1日分	2.5円	-13円
2025/12/26	金	1日分	2.4円	-13円

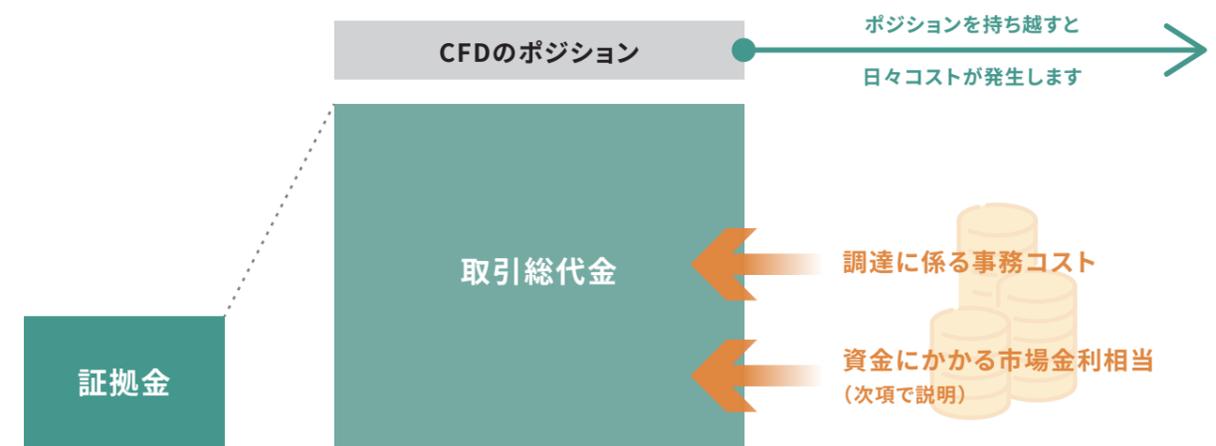
▲ 12/22~26は権利調整額がなかった(配当が発生しなかった)ため金利調整額のみ付与されています。

金利調整額はどうして発生するの？



例えば現物株の場合、株を保有するための資金を全額用意して、実際に株式を持ちます。一方で、CFDは「差金決済取引」のため、実際に現物を持つわけではなく、証拠金(取引総代金の10%)を担保として預けて取引を行い、レートの変動で生じた損益を受け取ることになります。

しかしながら、実際には取引総代金分の取引を行っていますので、その取引に係る費用(市場金利相当+調達に係る事務コスト)が発生します。



# 第1章 CFDを知る

## 金利水準によっては、売りポジションでもマイナスになることがあります

売りポジションは原則として金利調整額はプラス(お客様のお受け取り)ですが、資金に適用される金利レート(市場金利)が低い場合、売りポジションを保有することで受け取れる金利が少なく、資金調達に係る事務コストの方が大きくなってしまい、結果としてマイナス(お客様のお支払い)となる場合があります。

例えば日本N225のように投資対象国が日本の場合や、投資対象国と日本の金利差が小さい場合は、市場金利相当分よりも調達に係る事務コストが上回ることで、買い・売りポジションともに金利調整額がマイナスになることもあります。

※市場金利は下記の通りです。

日本N225:TONA(無担保コールオーバーナイト金利)

米国D30・米国NQ100・米国SP500:SOFR(担保付翌日物調達金利)

英国F100:SONIA(ポンド翌日物平均金利)です。

## イメージ



売買益がプラスであっても、保有期間中に積み上がった調整額がマイナスだと、トータルの損益がマイナスになることがあるので注意が必要がう



## 調整額が優遇される「せま得」サービスがあります!

「せま得」はトラリピ注文で利益値幅を一定以内におさめると優遇調整額が付与されるサービスです。トラリピFXでは2022年から常設サービスとして提供してまいりましたが、トラリピCFDでも2025年5月からせま得をスタートいたしました。

調整額は「金利調整額」と「権利調整額」を合わせた金額ですが、優遇されるのは金利相当額のみです。受け取れる金利相当額は通常分よりも多く、支払いの金利相当額は通常よりも少ない金額になります。

### トラリピ注文画面を一部抜粋

利益値幅 ?	300
利益金額を指定する >	300円
せま得適用	

「せま得」ページはお客様専用ページ内「サービス案内」にあります。

せま得適用の注文の場合、注文画面にせま得マークが表示されます。  
買いトラリピの場合は赤、売りトラリピの場合は青色です。



# 第1章 CFDを知る

## 権利調整額って何？

権利調整額は株式投資でいう「配当」に相当します。現物株を保有している場合、配当が発生すると受け取ることができます。CFDの場合、実際に株を保有するわけではなくて買いポジションを保有した場合は現物株を保有していることと同じ状態になりますので、株価指数の組入銘柄に配当が発生した場合、買いポジションを保有していたら権利調整額が受け取れます。

※売りポジションはお客様のお支払いになります。

金利調整額は日々発生しますが、権利調整額は指数を構成する銘柄で配当の支払いがあったときに発生します。例えば、下記は米国D30の調整額カレンダーですが、2024/9/3以外の買いポジションはマイナス、売りポジションはプラスですが、2024/9/3の買いポジションはプラス、売りポジションはマイナスとなっています。これは、この日に権利調整額が発生したためです。

調整額カレンダー(米国D30)

日付	曜日	付与日数	売・調整額 (1Lotあたり)	買・調整額 (1Lotあたり)
2024/9/1	日	-	-	-
2024/9/2	月	3日分	14.4円	-39.9円
2024/9/3	火	1日分	-18.8円	10.3円
2024/9/4	水	1日分	4.8円	-12.8円
2024/9/5	木	1日分	4.6円	-12.8円

買いポジションで10.3円調整額が発生していますが、金利調整額-12.8円とすると権利調整額が23.1円発生していたことになります。

権利調整額(配当相当額)の金額や付与されるタイミングは投資対象先の企業次第だけど、

- ・ 日本N225は3, 6, 9, 12月の下旬
- ・ 米国D30と米国NQ100はまちまち
- ・ 英国F100は毎週木曜日に付与される

傾向が多いがう



※上記はあくまで過去の傾向であり、将来の権利調整金の付与やタイミング、その金額等について保証するものではありません。

## マーケット情報を活用しよう

主要株価指数(日経平均やS&P500など)の情報はテレビやインターネットのニュース等で比較的容易に入手できますが、当社専属のアナリストによるマーケット分析やストラテジストが考える運用戦略などの情報を、レポート・動画を通じて提供しておりますので、ぜひご活用ください。

◆マーケット情報

<https://www.m2j.co.jp/market>

◆公式YouTubeチャンネル「MONEY SQUARE」

<https://www.youtube.com/c/MONEYSQUARE>

## 第2章 注文する

### 注文方法について

まず、注文方法は2つに分かれます。

#### 1 トラリピ



自動売買をしたい、コツコツ利益を取りたい場合、  
トラリピを検討してみましょう。

トラリピの基本的な仕組みからトレンドが発生しやすい  
CFDならではのトラリピの使い方について説明します。



➡ p.35へ

#### 2 通常注文

当社ではトラリピ以外の注文を総じて「通常注文」と呼びます。

自分のタイミングで(自動売買ではなく)売ったり買ったりしたいという場合、  
通常注文がおすすめです。

なお、トラリピと通常注文は口座内で併用してお取引いただけるので、  
トラリピを取引しているが、相場のタイミングを見計らって通常注文も  
行いたいということも可能です。

➡ p.52へ

### トラリピを注文

例として、日本N225のトラリピを注文して、どのように取引が成立するのか説明します。

#### アプリ注文画面



トラリピを注文するときは、

- 銘柄
- 売買
- レンジ
- 注文数量(Lot)
- トラップ本数
- 利益値幅
- 追加設定  
(決済トレール/ストップロス/レンジシフト/  
トラリピメモ)

を自分で設定します。

今回は下記を例に注文します。

- 銘柄 : 日本N225
- 売買 : 買い
- レンジ : 39,000円～41,000円
- 注文数量(Lot) : 10Lot
- トラップ本数 : 11本
- 利益値幅 : 300円
- 追加設定 : なし

## 第2章 注文する

- 銘柄 : 日本N225
- 売買 : 買い
- レンジ : 39,000円~41,000円
- 注文数量(Lot) : 10Lot
- トラップ本数 : 11本
- 利益値幅 : 300円
- 追加設定 : なし

新規と決済の差額が**利益値幅**になります。

この場合、買い注文価格の300円上方に決済注文が設定されます。

決済した場合、3,000円の利益が得られます。

※300円×1倍(売買単位)×10Lot(注文数量)

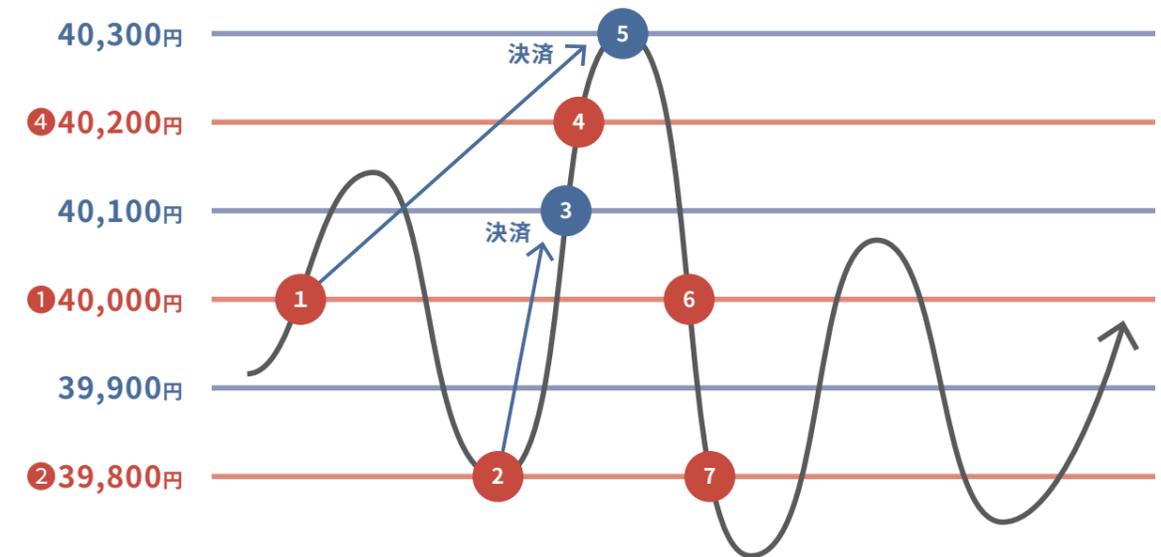
利益値幅:300円

	注文数量	新規買い注文価格	決済売り注文価格
レンジ上限:41,000円 →	10Lot	41,000円	41,300円
11本のトラップが等間隔で注文されます。 新規注文のトラップの間隔を <b>トラップ値幅</b> といいます。 この場合、トラップ値幅200円なので、200円間隔で新規注文が設定されます。	10Lot	40,800円	41,100円
	10Lot	40,600円	40,900円
	10Lot	40,400円	40,700円
	4 10Lot	40,200円	40,500円
	1 10Lot	40,000円	40,300円
	2 10Lot	39,800円	40,100円
	10Lot	39,600円	39,900円
	10Lot	39,400円	39,700円
	10Lot	39,200円	39,500円
	10Lot	39,000円	39,300円
	レンジ下限:39,000円 →		

トラップ値幅:200円

例えば、注文したあとのレートが下記のように動いていた場合

左ページの表で①、②、④と番号を振っているトラップが成立します。



1. 日本N225=40,000円に到達したので、**40,000円の買い注文①**が成立
2. レートが下降し、**39,800円の買い注文②**が成立
3. レートが上昇し、**39,800円の買い注文②**に対する**決済注文③(40,100円)**が成立  
3,000円の利益が確定 → **②のトラップがリピート⑦**します
4. レートが上昇し、**40,200円の買い注文④**が成立
5. レートが上昇し、**40,000円の買い注文①**に対する**決済注文⑤(40,300円)**が成立  
3,000円の利益が確定 → **①のトラップがリピート⑥**します
6. レートが下降し、**40,000円の買い注文⑥**が成立
7. レートが下降し、**39,800円の買い注文⑦**が成立

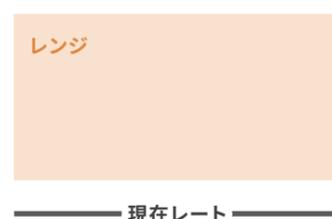
## 第2章 注文する

トラリピの設定内容を定めるうえで重要なポイントを説明します。

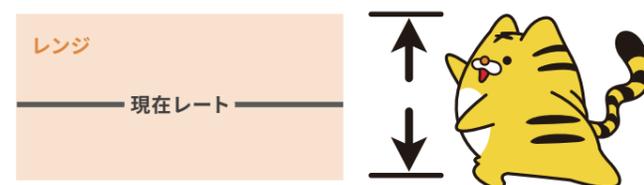
### トラリピ注文は設定したレンジの中にトラップが等間隔で設定される

つまり、今のレートがレンジから外れている場合は注文が成立しません。注文された後に、レートが上に行っても、下に行っても取引が成立するようにしたい場合は今のレートを挟んだレンジを検討しましょう。

#### レンジ内にレートがない



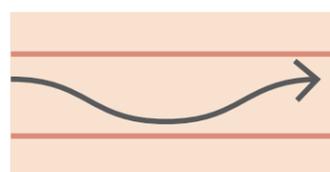
#### 現在レートを挟んだレンジ



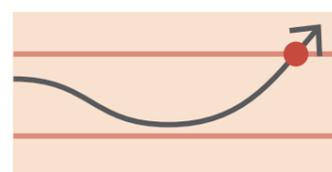
### 各トラップの新規注文価格にレートが到達すると取引が成立する

レンジ内でレートが推移していれば取引が必ず成立するというわけではなく、あくまで各トラップの注文価格にレートが到達することで成立します。

#### 成立しない



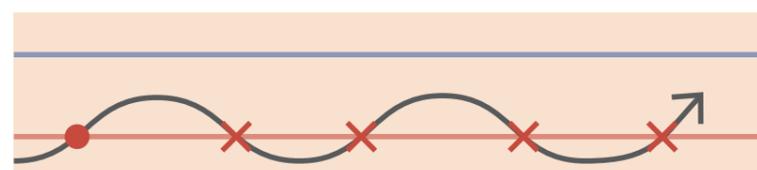
#### 成立



### 決済されると同じ価格の新規・決済注文がリピートする

決済されるまでは同じ価格に何度レートが到達しても新たなポジションを持つことはありません。利益幅が広すぎる場合、相場が大きく変動しないと決済されないリスクが高くなりますので、気を付けましょう。

#### 決済されないトリートしない



### 海外指数の利益金額に注意

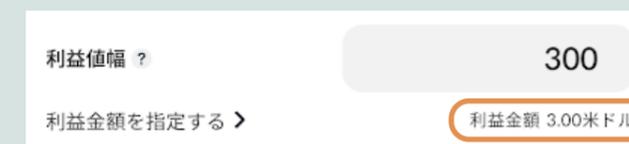
日本N225は売買単位が1倍のため、利益値幅×注文数量(Lot)で決済により得られる利益金額が計算でき、イメージしやすいと思います。

一方、海外指数の場合は売買単位が0.01倍～0.1倍なので、利益金額を計算するためには売買単位も掛ける必要があります。

#### (例)米国D30の買いトラリピで1本あたり 1Lot / 利益値幅300(米ドル)の場合

1回の決済で得られる利益金額は3米ドルとなります。  
計算: 300米ドル(利益値幅) × 1Lot × 0.01倍(売買単位)

なお、利益金額についてはトラリピの注文画面で利益値幅の下にありますので、そこで確認することもできます。



▲利益金額

また、海外指数の利益については決済が成立した時点の円換算レートで換算され口座に反映します。

このため、利益値幅(利益金額)が同じトラリピであっても決済時の円換算レートの違いによって口座に反映される利益も変わります。

## トラリピで積極的にパフォーマンスを追求したい

トラリピは、レンジ相場(一定の変動幅の中で価格が上がったり下がったりを繰り返す相場)において利益獲得(積上げ)を期待する注文方法ですが、「決済トレール」「レンジシフト」といった機能を活用することで**トレンド相場**(一定の方向に継続して動く相場)において**利益拡大が期待できるようになります**。以下で説明する「決済トレール」「レンジシフト」の仕組みやメリット・デメリットを十分ご理解いただいたうえで、活用をご検討ください。

- 大きくレートが動いたときには利益も大きくしたい
- **トレンド相場を活かしたトラリピを仕掛けたい**

➤ **決済トレール**(p.41)

- 大きくレートが動いて、レンジから抜けてしまったときにレンジが動く機能をつけたい
- **トレンド相場を活かしたトラリピを仕掛けたい**

➤ **レンジシフト**(p.46)

- 決められた利益値幅でコツコツ利益を積み重ねたい
- **初心者なので、シンプルなトラリピで運用したい**

➤ **追加設定は見送る**



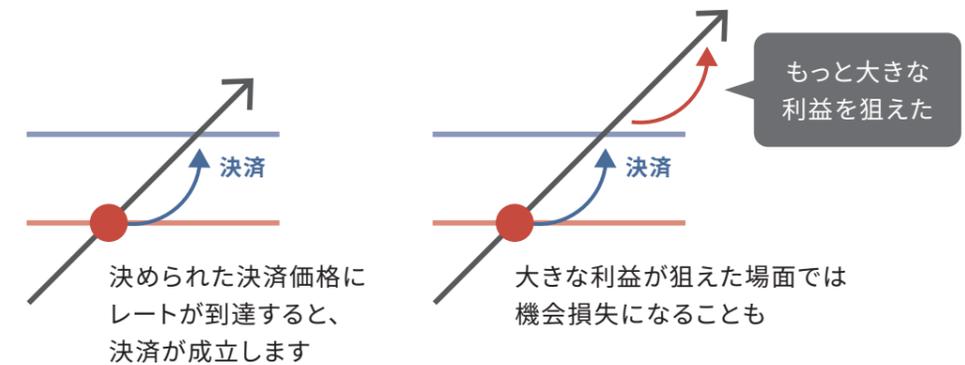
決済トレール・レンジシフトはどちらも  
トラリピ上級者向けの機能がう

## ◆ 決済トレール

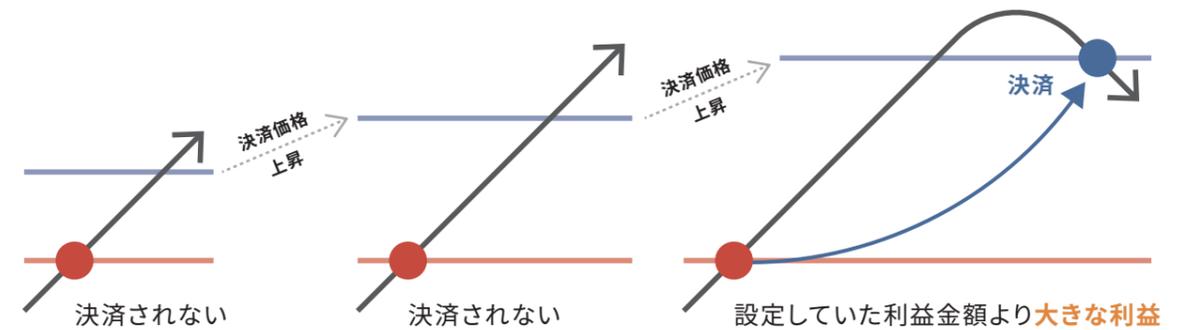
通常のトラリピ(買いトラリピの例)

デメリット

トレンド相場では機会損失となることも



決済トレール付きのトラリピ(買いトラリピの例)



このようにレートが利益が出る方向に大きく動いた場合は決済価格が動き、レートが反転して有効中の決済価格に到達すると成立する流れです。

ただし、上記はあくまでイメージであって、レートの動きによって、決済価格が移動せず、成立する場合や、相場の急変時や窓開け時はマイナスで決済が成立してしまうリスクもあります。次項でリスクや決済トレールの詳しい仕組みを説明します。

## 第2章 注文する

(例)

日本N225の買いトラリピ(レンジ39,000円~49,000円)、トラップ本数21本、1本あたり10Lot、利益値幅500円のトラリピ注文に決済トレールを設定します。

このトラリピのトラップのうち、新規買い注文39,000円、決済売り注文39,500円の注文について説明します。

- (1) まず、日本N225のレートが39,000円に到達して、買いポジションが成立します。買いポジションの成立と同時に**最初のトレール判定価格1(39,600円)**が有効になります。



ポイント

●**買いトラリピの場合、最初のトレール判定価格は決済価格+トレール値幅で設定される**

※売りトラリピの場合はトレール値幅分下の価格。

トレール値幅は銘柄ごと下記の通りです。

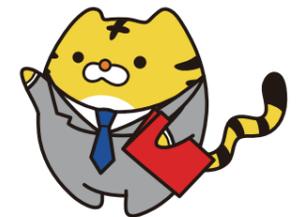
日本N225:100円/米国D30・米国NQ100:100米ドル/

米国SP500:10米ドル/英国F100:100英ポンド

●**最初のトレール判定価格にレートが到達するまで、決済価格は有効にならない**(決済価格にレートが到達しても決済されない)

最初のトレール判定価格(39,600円)にレートが到達すると、決済注文(39,500円)が有効になります。

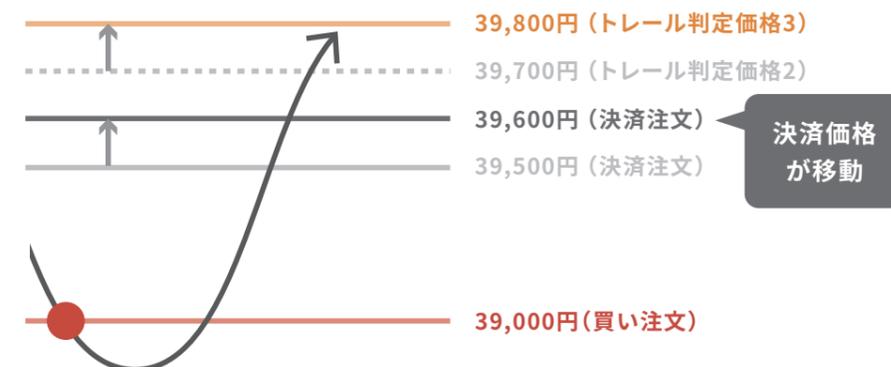
つまり、決済価格+トレール値幅分レートが動かないと、決済されない  
ということがう



- (2) レートが最初のトレール判定価格1(39,600円)を超えたので、**決済注文(39,500円)**が有効となり、**新たなトレール判定価格2(39,700円)**が設定されます。  
※新たなトレール判定価格は最初のトレール判定価格(39,600円)の100円上の価格で設定されます。



- (3) レートがトレール判定価格2(39,700円)を超えたので、**決済価格が39,500円から39,600円に移動**し、**新たなトレール判定価格3(39,800円)**が設定されます。



## 第2章 注文する

### ポイント

#### ●2回目のトレール判定価格にレートが到達すると、 はじめて決済価格が移動する

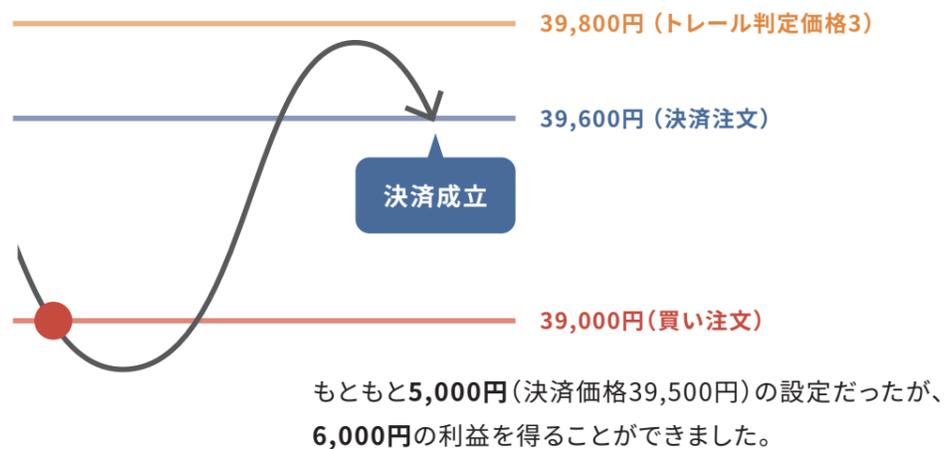
最初のトレール判定価格にレートが到達すると、当初設定していた決済価格が有効となりますが、決済価格は移動しません。2回目以降のトレール判定価格にレートが到達するごとに決済価格がトレール値幅分、移動します。

#### 決済が成立するタイミング

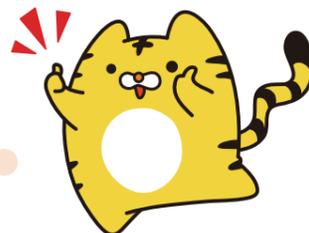
有効中の決済価格にレートが到達すると決済されます。

例えば前項の(3)の状態、レートがトレール判定価格(39,800円)まで上昇せず、反転して決済価格(39,600円)に到達すると決済されます。なお、決済が成立するときは成行で執行されます。

※成行とはその時のレートで即時執行する注文方法です。



レートが大きく動いたときは  
利益拡大を狙えるがう



#### 決済トレールの注意事項

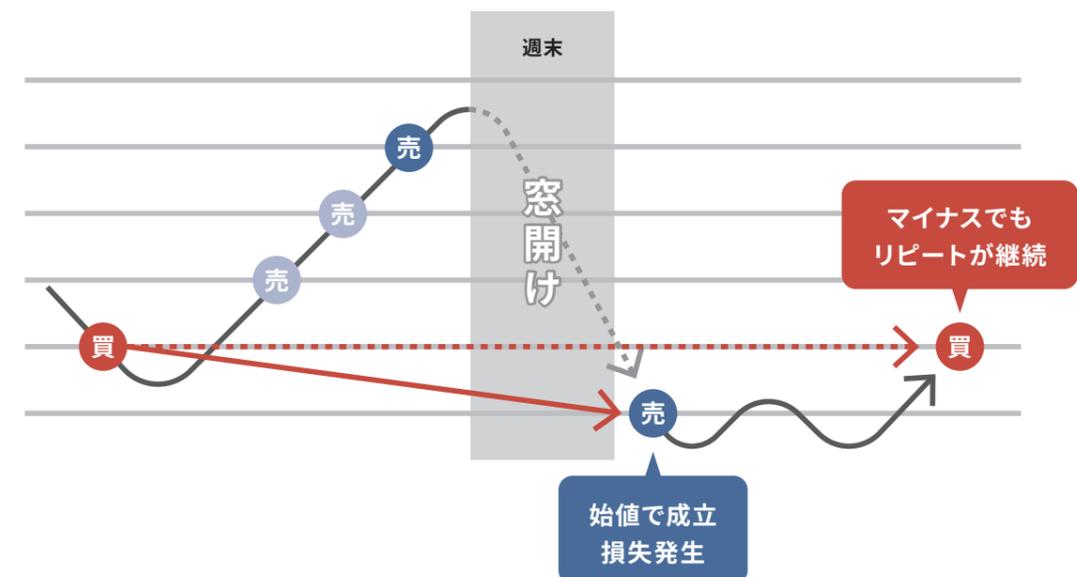
#### スリッページが発生するリスクがあります。

スリッページとは注文価格から乖離して成立することです。決済トレールを設定しているトラリピの場合、決済価格にレートが到達すると成行で決済されます。このため、注文中の決済価格と成立する価格に乖離(スリッページ)が発生するリスクがあります。

#### 値動きによっては決済損益がマイナスとなることがあります。

窓開け時(週末の終値と週初の始値に乖離が生じること)のように急に値が飛ぶような動きが発生した場合、決済損益がマイナスとなる場合があります。

例えば買いのトラリピで、買いポジションの価格39,000円、有効中の決済注文価格39,500円の状態、週末を迎え、週初38,900円からスタートした場合、38,900円で決済されてしまいます。決済損益がマイナスとなった場合でも、口座の余力がある(注文ができる)状態であれば、リピートされます。



## 第2章 注文する

### ◆ レンジシフト

通常のトラリピ

デメリット

レンジ内にレートが戻るまで新たな取引が成立しない



レンジからレートが抜けていても、レンジは変わらず

レンジシフト付きのトラリピ



レンジシフトはレンジからレートが抜ける(レンジアウトといいます)と、レートがレンジ内に収まるようにシフトする機能です。

レンジアウトしている場合、自分で気づいたタイミングでトラリピを追加したり、今のレートに仕掛けなおしたりすることはもちろん可能ですが、そういった手間をかけずに、なるべくレンジアウトにならないようにしたい、という方におすすめです。

ただし、リアルタイムでシフトしない点や設定条件など複雑ですので、ご理解いただいたうえで、設定を検討しましょう。

### シフトする条件

(1) レートが利益の出る方向にレンジアウトした場合

買いトラリピ: レンジ上限をレートが上抜け

売りトラリピ: レンジ下限をレートが下抜け

上記の場合にシフトします。

買いトラリピを例に説明すると「レンジ上限をレートが上抜け」というのは、レンジ内で成立した買いポジションが順次利益確定(決済)されながらレートがレンジアウトするイメージです。

(2) シフトの判定は取引終了時点のレートで行います

レンジシフトするかどうかの判定は毎営業日の取引終了時点のレートで行います(一日1回のみ判定です)。

条件を満たした場合、翌営業日の取引開始時にレンジがシフトしたことを確認できます。

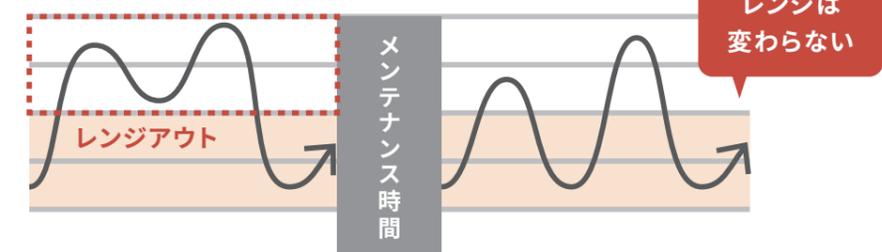
リアルタイムでシフトするわけではないことに注意がう



この場合はシフトしません

取引時間中にレートがレンジを上抜け(買いトラリピの場合)したものの、取引終了時点でレンジ内に収まったためシフトしません。

※買いトラリピのイメージ

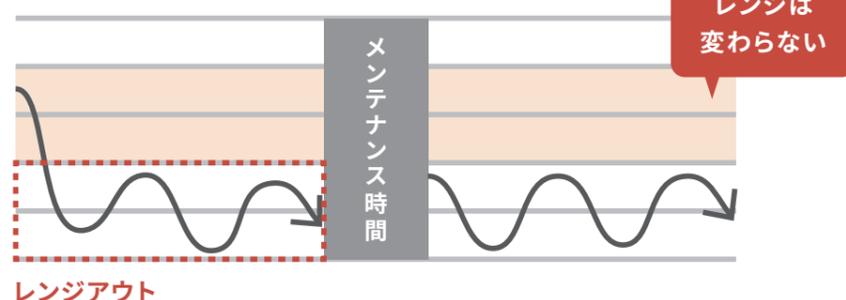


## 第2章 注文する

この場合は  
シフト  
しません

取引終了時点でレートがレンジを下抜け(買いたらリピの場合)していても、損失が出る方向なので、シフトしません。

※買いたらリピのイメージ



### シフト後のレンジの決まり方

シフトする幅(シフト値幅)は、レンジとトラップ本数をもとにシステムで自動計算され、注文画面でご確認いただけます。シフト値幅はイメージとして「レンジの概ね半分」とお考えください。

※「シフト値幅」分だけレンジシフトしても取引終了時点のレートがレンジ内に収まらない場合は、レンジ内に収まるまで「シフト値幅」×複数回、シフトします。

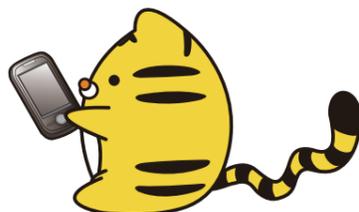
### トラリピ注文画面

追加設定 (決済トレール・ストップロス・レンジシフト・メモ)

決済トレール?      トレール値幅 100

ストップロス?      **43,700**

レンジシフト?      **シフト値幅 4,000**



### (例)日本N225の買いたらリピ(レンジシフト付き)

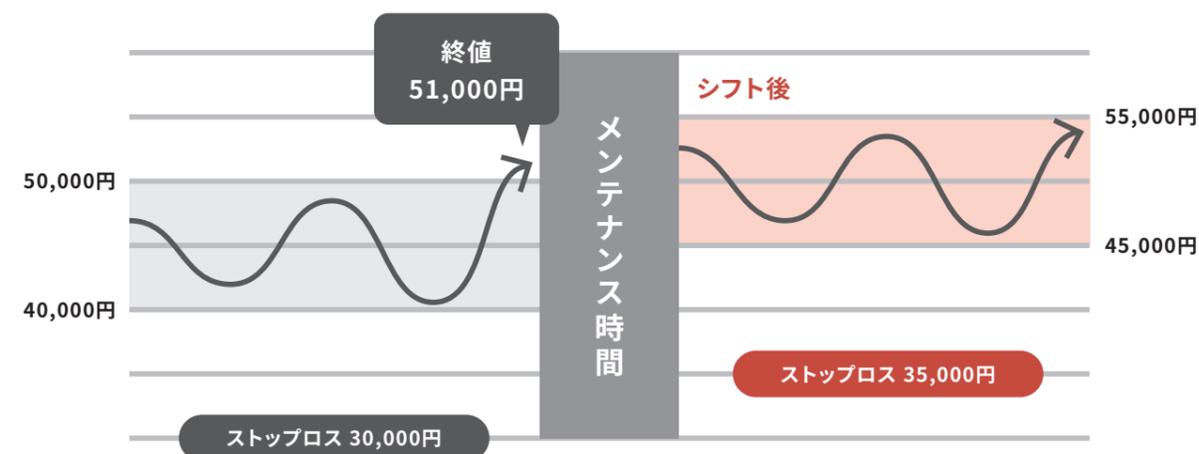
レンジ40,000円~50,000円、ストップロス30,000円、トラップ本数21本

※シフト値幅は5,000円

このトラリピはどのようにレンジが変わるか、説明します。

### 日本N225の終値が51,000円となった場合

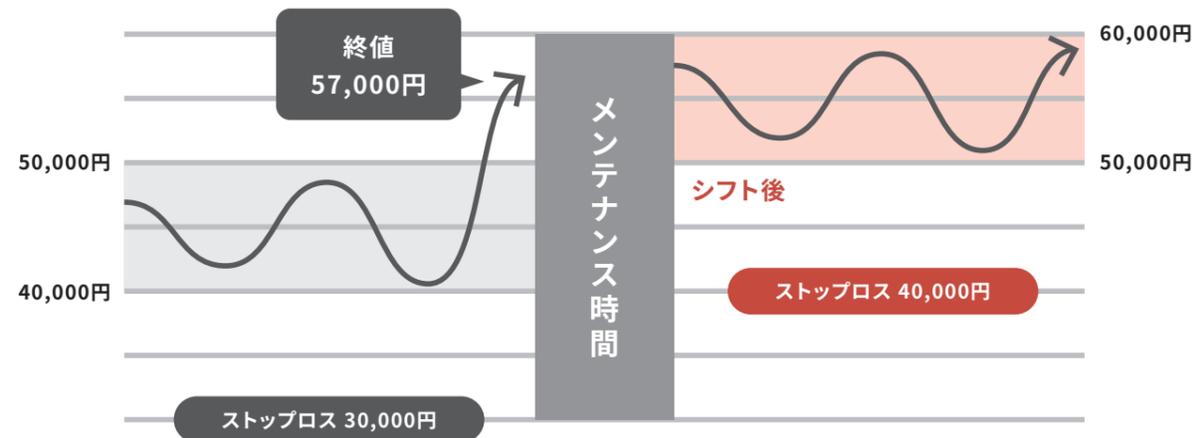
レンジ上限の50,000円を超えているため、シフトが発動します。シフト値幅は5,000円なので、レンジとストップロスがそれぞれ5,000円上方にシフトします。



### 日本N225の終値が57,000円となった場合

シフト幅(5,000円)分だけレンジがシフトしても、レートがレンジ内に収まらないため、もう一度(2回目の)シフトが行われます。その結果、レンジとストップロスは10,000円(シフト値幅5,000円×2回)分上方にシフトします。

## 第2章 注文する



### 設定条件

レンジシフトを設定するためには下記の条件を満たす必要があります。  
特にストップロスの設定が必須であることに注意が必要です。

- ✓ **ストップロスの設定が必須**
- ✓ 決済トレールの併用は不可
- ✓ 現在レートが設定するレンジ内にある
- ✓ トラップ本数2本以上
- ✓ 利益値幅がシフト値幅より小さい



※既存のトラリピにレンジシフトを追加(設定)する場合、上記条件に加えて「トラリピの初回設定時からトラップ本数が変わっていないこと」を満たす必要があります。

### ※ストップロスについて

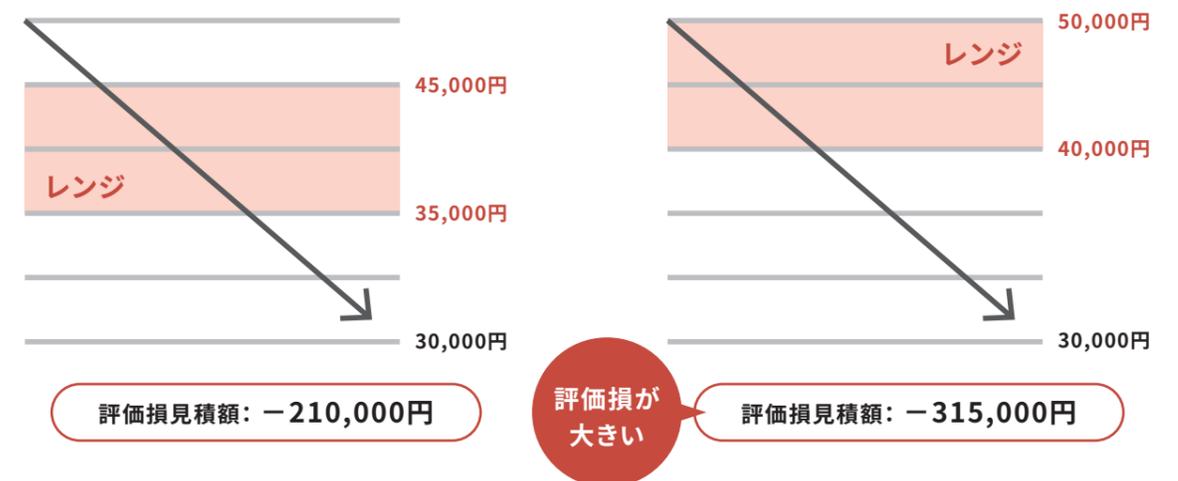
ストップロスはトラリピに設定できる「損切の注文」です。ストップロスをつけることにより、指定された価格でトラリピが決済されるので、損失額を一定以内に抑えることができます。

レンジシフトにストップロスの設定が条件である理由ですが、レンジがシフトした場合、当初設定していたレンジと比べると想定以上に評価損が膨らむ恐れがあるためです。

### (例)

日本N225の買いトラリピ  
レンジ35,000円～45,000円、トラップ本数21本、1本あたり1Lot  
レンジ40,000円～50,000円、トラップ本数21本、1本あたり1Lot

買いポジションを全て保有した状態で30,000円までレートが下がった時の評価損を比較します。



このような損失拡大リスクを限定することを目的として、レンジシフトの設定に際しストップロスを必須にしています。

## 第2章 注文する

### 通常注文(トラリピ以外の注文)

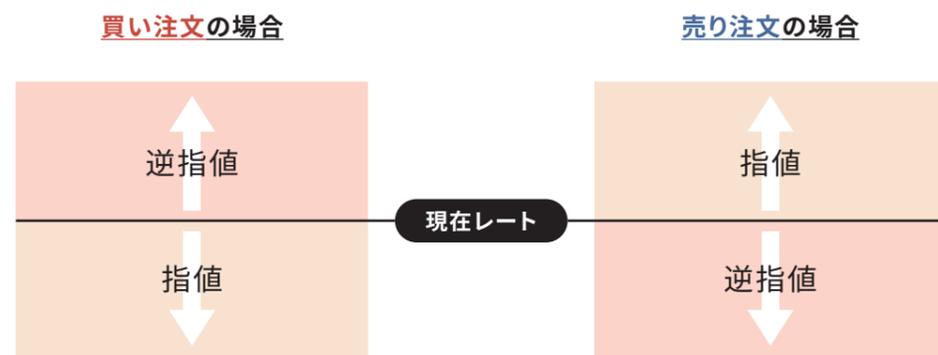
当社ではトラリピ以外の注文を「通常注文」と呼んでいます。  
通常注文は6種類(新規注文)あります。注文したい内容に適した種類を選びましょう。

#### 指値

指値は価格を指定(予約)する注文方法です。買い注文は現在のレートより下の価格、売り注文は現在のレートより上の価格が指定できます。

#### 逆指値

逆指値は指値同様価格を指定(予約)する注文方法ですが、指値とは反対に、買い注文は現在のレートより上の価格、売り注文は現在の価格より下の価格を指定いただく注文方法です。



ポイント

トレンドに乗って注文を入れたい場合は逆指値  
(買い逆指値: 上昇トレンド 売り逆指値: 下降トレンド)

#### IFD

IFD(イフダン)は新規と決済を同時に注文(予約)する方法です。

(例)日本N225を40,000円で買って、41,000円になったら売る

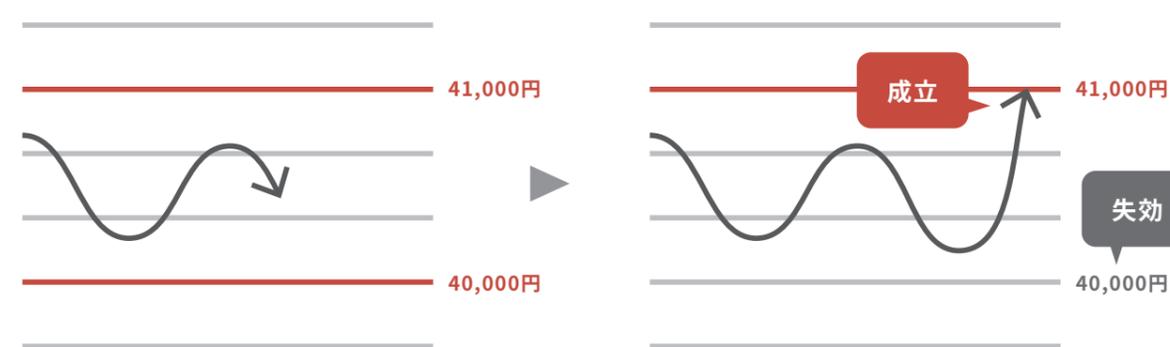
注文画面(イメージ)

新規買い注文 (IFD # 1)	40,000円
決済売り注文 (IFD # 2)	41,000円

#### OCO

OCO(オーシーオー)は2つの注文を同時に出して、そのうちの 하나가成立するともう一方は自動的にキャンセルされます。

(例)日本N225が下がった時は40,000円、上がった場合は41,000円で買いの注文をしたい



OCOで注文を出します

41,000円にレートが到達したので、  
40,000円の注文は失効しました

## 第2章 注文する

### IFO

IFO(イフダンオーシーオー)はIFDとOCOを組み合わせた注文です。新規と決済を同時に出すことができ、決済注文については2つの注文を同時に出せます。

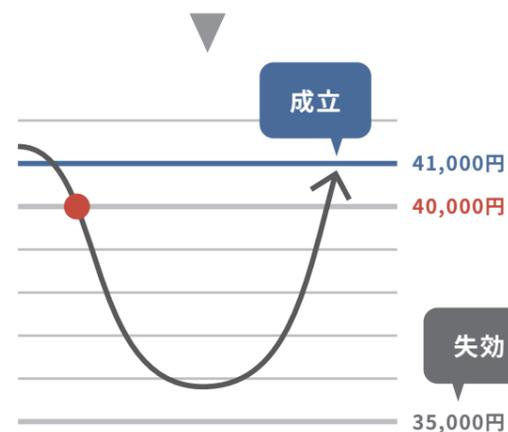
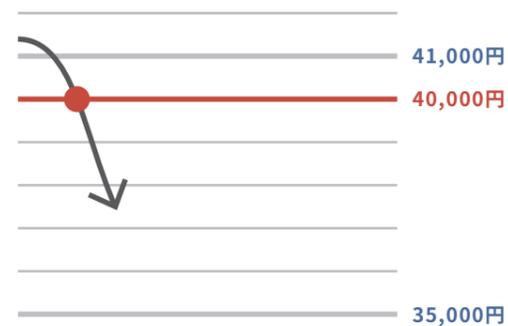
(例)日本N225を40,000円で買い、  
41,000円(利益狙い)と35,000円(損切)の決済売り注文を出したい

#### IFOで注文を出す

注文画面(イメージ)

新規買い注文 (IFO # 1)	40,000円
決済売り注文 (IFO # 2)	41,000円
決済売り注文 (IFO # 3)	35,000円

#### 買い注文が成立



41,000円の決済売り注文が成立したので、  
35,000円の注文は失効しました

#### 通常注文はどこから注文できる？

取引画面の「新規注文画面」(初期状態では「トラリピ」の注文画面となっています)で「通常注文」のタブに切り替えます。



#### 通常注文でよくある問い合わせ

Q. 通常注文とトラリピでレートやスプレッドは同じですか？

同じです。

Q. 通常注文で成立したポジションや注文はどこで確認できますか？

ポジションは「ポジション一覧」、注文は「注文一覧」で確認できます。  
トラリピ注文も同時に運用している場合は「通常」で絞り込むことで確認しやすくなります。

Q. 通常注文は取消や修正ができますか？

指値・逆指値のみ修正が可能です。取消はいずれの注文も可能です。  
指値・逆指値以外の注文価格等を修正したい場合は一度取消後、再度注文し直してください。  
取消修正は「注文一覧」から行えます。

## 第3章 メンテナンスする

### トラリピを注文した後にできること

トラリピは注文した後でも、取消したり、修正したりできます。

特に為替と比較すると株価指数はトレンドが発生しやすいため、レンジアウトするリスクが高くなります。定期的に設定したトラリピを見直すことで、その時の相場にあったトラリピを稼働させることができます。

ちなみに、メンテナンス(トラリピの設定内容の見直し)はあくまで任意であって、必ずしなければならないものではありません。ただし、リスク管理は行った方がよいので、証拠金維持率は適宜チェックするようにしましょう。

トラリピを長く続ける秘訣は  
メンテナンスにあり!がう



### トラリピの取消

設定しているトラリピを取消する操作です。

トラリピ毎にまとめて取消する場合は「トラリピ管理表」から、トラップ毎に取消する場合は「トラリピ詳細」から操作します。

#### (例)日本N225の買いトラリピ

レンジ:40,000円~48,000円、トラップ本数21本

このトラリピを一括で取消したい → **トラリピ管理表から取消**

#### トラリピ管理表

レンジ	利益幅 注文数量	平均価格 本数	保有数量 合計数量	評価損益 総合損益
日本N225 買 40,000 ~ 48,000	400 1.0	- 21	0.0 21.0	0 0
N225/JPY_1.0_21_2025/11/18				
日本N225 買 39,000 ~ 45,000	400 1.0	39,040 51	3.0 51.0	+1,239 +1,709
日本N225_1_21_2025/10/09				

取消したいトラリピを  
タップして  
「トラリピ取消」

このトラリピのうち、47,600円、47,200円のトラップを取消したい

→ **トラリピ詳細からトラップの一部取消**

#### トラリピ詳細

1本ごとの詳細	新規・買	決済・売	評価損益 (ポジション)	(調整額)
<input type="checkbox"/>	48,000	48,400	*	*
<input type="checkbox"/>	47,600	48,000	*	*
<input type="checkbox"/>	47,200	47,600	*	*
<input type="checkbox"/>	46,800	47,200	*	*
<input type="checkbox"/>	46,400	46,800	*	*
<input type="checkbox"/>	46,000	46,400	*	*
<input type="checkbox"/>	45,600	46,000	*	*

トラリピ詳細の  
「1本ごとの詳細」で  
取消したいトラップに  
チェックを入れる

【操作方法の詳細】

PCの場合:

[https://qa.m2j.co.jp/faq/show/4977?site\\_domain=default](https://qa.m2j.co.jp/faq/show/4977?site_domain=default)

スマートフォンアプリの場合:

[https://qa.m2j.co.jp/faq/show/5048?site\\_domain=default](https://qa.m2j.co.jp/faq/show/5048?site_domain=default)

# 第3章 メンテナンスする

## トラリピの再設定

トラリピの再設定とは、トラリピの取消と同時に、新たなトラリピを注文できる機能です。

(例)日本N225で買いトラリピ40,000円~44,000円、  
トラップ本数21本で設定しているが、  
39,000円~45,000円、トラップ本数21本のトラリピに再設定する。

**トラリピ管理表**

レンジ	利益幅 注文数量	平均価格 本数	保有数量 合計数量	評価損益 総合損益
日本N225	400	39,040	3.0	+1,239
39,000 - 45,000	1.0	51	51.0	+1,709
日本N225_1_21_2025/10/09				
日本N225	400	-	0.0	0
40,000 - 44,000	1.0	21	21.0	0
N225/JPY_1_0_21_2025/11/18				

このトラリピを選択し、再設定を行う

再設定したい内容を入力

再設定前のトラリピは取消されて新しいトラリピが設定される

【操作方法の詳細】

PCの場合:

[https://qa.m2j.co.jp/faq/show/4982?site\\_domain=default](https://qa.m2j.co.jp/faq/show/4982?site_domain=default)

スマートフォンアプリの場合:

[https://qa.m2j.co.jp/faq/show/5049?site\\_domain=default](https://qa.m2j.co.jp/faq/show/5049?site_domain=default)

## トラリピの修正

トラリピの設定項目のうち、下記は修正が可能です。

レンジの拡張 / 注文数量の変更 / 利益幅(利益金額) / 決済トレールのON・OFF / ストップロスの追加(価格の変更) / レンジシフトのON・OFF

修正は各項目、トラリピ管理表もしくはトラリピ詳細から行えます。

【操作方法の詳細】

PCの場合:

[https://qa.m2j.co.jp/faq/show/4978?site\\_domain=default](https://qa.m2j.co.jp/faq/show/4978?site_domain=default)

スマートフォンアプリの場合:

[https://qa.m2j.co.jp/faq/show/5047?site\\_domain=default](https://qa.m2j.co.jp/faq/show/5047?site_domain=default)

具体的にトラリピをどのように修正したらよいか、トラリピ注文後、どのような項目に気を付けたらよいかわからない場合、下記項目を確認してみましょう。

### CHECK

- ✓ レンジアウトしていないか
- ✓ 最近の決済回数
- ✓ 発注可能額が多い・少ない
- ✓ 証拠金維持率が下がってきた



# 第3章 メンテナンスする

## レンジアウトしていないか

レンジアウトとは仕掛けているレンジからレートが抜けている状態を指します。この場合、新たな取引が成立しないこととなります。レンジアウトしているかどうかはトラリピ管理表で確認できます。

### トラリピ管理表

● 日本N225 トラリピ一覧 ?						
レンジ	利益値幅		平均価格		保有数量	評価損益
	注文数量	本数	合計数量	総合損益		
日本N225 <b>買</b>	400	39,040	3.0	+1,239		
39,000 - 45,000	1.0	51	51.0	+1,709		
日本N225_1_21_2025/10/09						
日本N225 <b>買</b>	400	-	0.0	0		
40,000 - 44,000	1.0	21	21.0	0		
N225/JPY_1.0_21_2025/11/18						
日本N225 <b>売</b>	500	-	0.0	0		
41,000 - 42,000	1.0	21	21.0	0		
日本N225_1_21_2025/10/09						

色がついているトラリピはレンジアウトしている



色付けの基準は下記の通りです。

- 青** ポジションがすべて決済される方向へレンジアウトしています。  
買いトラリピ：現在レートがレンジを上抜けている  
売りトラリピ：現在レートがレンジを下抜けている
- 黄** 評価損が発生する方向へレンジアウトしています。  
買いトラリピ：現在レートがレンジを下抜けている  
売りトラリピ：現在レートがレンジを上抜けている

## レンジアウトの対応策

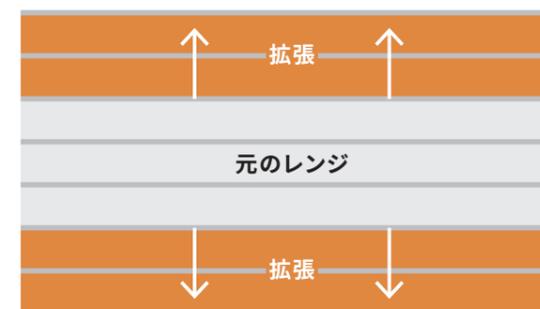
### ● 新たなレンジでトラリピを注文する

この場合、設定済みのトラリピを取消後、注文し直すか、設定済みのトラリピは残したまま新たなトラリピを追加する方法があります。

トラリピを残したまま追加する場合、口座全体としてみると注文数量が多くなりますので、注意が必要です。

### ● レンジ拡張を行う

トラリピの修正項目のうち、「レンジ拡張」を行うことで、仕掛けているトラリピのレンジ上方(または下方)に、新たなトラップを追加することで、実質的にレンジを広げることができます。



### ● レンジシフトの設定を検討する (なるべくレンジアウトにならないようにしたい)

※レンジシフトの仕様についてはp.46で説明

レンジシフトは設定時点において「レンジ内に現在レートがある」ことを条件としているため、レンジアウトしてからは設定できません。

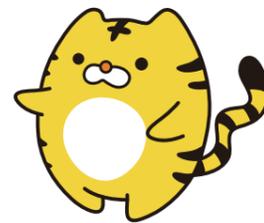
このため、自動的にレンジをシフトする機能を使いたい場合、レンジアウトする前にそのトラリピに設定するのがよいでしょう。ただし、レンジシフトの注意点(ストップロスが必須であることなど)に気を付けましょう。

# 第3章 メンテナンスする

## 最近の決済回数

決済状況は成立カレンダーで簡単に確認できます。

月	火	水	木	金	土	日
1 +12,712	2 +1,015	3	4 +3,667	5 +1,028	6	7
8	9 0	10 0	11 +1,193	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					



0円:新規注文は成立したけど決済注文が成立しなかった日  
空欄:新規・決済ともに成立しなかった日

### 空欄の日が多い

#### 設定しているトラリピがレンジアウトしていないか確認

そもそも、新規が成立していないと決済が行われないのでレンジアウトしていないか確認しましょう。

### 0円の日が多い

#### 利益値幅の見直し

新規は成立するけど、決済が成立していない状況ですので、利益値幅が相場状況と比較して広くなりすぎている可能性があります。

## 発注可能額が多い・少ない

発注可能額は取引画面の口座状況にある項目で、口座の余力を表しています。

預託証拠金	5,312,971円
有効証拠金	5,217,076円
評価損益	-95,895円
証拠金維持率	47%

銘柄	売	買
日本N225	-	99.0 (39,410)
米国D30	-	109.0 (44,570)

総必要証拠金	1,709,741円
必要証拠金	1,108,260円
発注証拠金	601,481円
発注可能額	3,507,335円

### 発注可能額が多い

基本的にロスカットに対するリスクを考慮すると、発注可能額は多い方が望ましいです。

しかしながら、**多すぎる場合**は口座の資金をほとんどを取引に使っておらず、資金効率が悪い状況と言えます。

有効証拠金	総必要証拠金	発注可能額
50万円	1万円	49万円

有効証拠金50万円  
これに対して  
発注可能額49万円  
→口座資金に対して、注文量がかなり小さい状況

発注可能額が多い場合、注文量を増やすことで資金効率があがります。ただし、ロスカットに対するリスクは気を付けましょう。

## 第3章 メンテナンスする

### 発注可能額が少ない

発注可能額が少ない場合、口座の資金に対して注文が多く入っている状態を指します。

#### ● 発注可能額が少ないし、維持率も低い

→ ロスカットが近いので、ポジションの一部損切りや入金などを検討する。

#### ● 発注可能額が少ないけど、維持率は高い

→ 未成立の注文が多いので、これから維持率が下がる可能性が高い。  
必要であれば、未成立の注文の取消を行うことを検討する。

発注可能額は下記で計算されます。

$$\text{発注可能額} = \text{有効証拠金} - \text{総必要証拠金}$$

※出金予約がある場合、その分を差し引きます。

上記計算で用いられる「**総必要証拠金**」とはポジションに対する証拠金(必要証拠金)と未成立の注文に対する証拠金(発注証拠金)を合計し算出されます。

このため、発注可能額が少ないけど、維持率が高い状態とは、ポジションは少ないけど、未成立の注文は口座の資金に対して目一杯設定されている状況です。

## 証拠金維持率が下がってきた

証拠金維持率が下がり100%を下回った場合、自動的にロスカットが執行されます。

ロスカットを回避したい場合はご入金もしくはポジションの一部損切りを行うことで、維持率が回復します。

### ロスカットに備えるために大切なことがあります

ロスカットは取引するうえで最大のリスク(一番大きな損失が発生するリスク)です。ロスカットを回避するために、ご入金やポジションの一部損切りは重要なことですが、お取引を始める前に、ロスカットになってしまったときの損失額(ロスカット見積額)を確認することも大切です。

事前にロスカットに対するリスクを確認することで、実際に100%に維持率が近づいた場合も落ち着いて対処することができます。

また、事前にロスカット見積額を確認し、損失額が大きいと感じられた場合は取引量を減らして許容できる損失額となるように調節しましょう。

リスク管理ツールを  
使いこなす gau



# 第3章 メンテナンスする

リスク管理ツールは取引状況に応じて適切なものを選びましょう。

## トラリピのリスクを試算

こんな人がおすすめ  **トラリピCFD口座ではじめてトラリピを注文する人**

「トラリピのリスクを試算」は注文画面で入力したトラリピのみ、考慮してロスカット見積額を算出しています。操作もシンプルで使いやすいので、はじめてトラリピCFDで注文する前に活用してみるとよいでしょう。

一方で、ひとつのトラリピのみ考慮しているので、すでにトラリピCFDで注文している場合は「トラリピのリスクを試算」ではなく「リスクシミュレーション」を活用したほうがよいでしょう。

トラリピのリスクを試算		キャンセル
注文に必要な最小資金※	158,550円	
必要証拠金(35,500)	74,550円	
評価損見積額(35,500)	-84,000円	
100円動くごとの損益※	±2,100円	
ストップロス価格	35,000円	
ストップロス見積額	-94,500円	
運用予定額	500,000円	
ロスカットレート(概算)※	17,433円	
ロスカット見積額	-463,407円	

運用予定額に応じて  
ロスカットレート等が試算される

(PC)「トラリピのリスクを試算」の見方

[https://qa.m2j.co.jp/faq/show/4988?site\\_domain=default](https://qa.m2j.co.jp/faq/show/4988?site_domain=default)

(アプリ)「トラリピのリスクを試算」の見方

[https://qa.m2j.co.jp/faq/show/5021?site\\_domain=default](https://qa.m2j.co.jp/faq/show/5021?site_domain=default)

## トラリピのリスクを試算

こんな人がおすすめ  **トラリピCFD口座で複数のトラリピを仕掛けている**

※ただし、ロスカットレートの確認は単一銘柄の場合に限ります。

リスクシミュレーションは実際の口座状況を反映した形でシミュレーションが行えます。特に単一銘柄でトラリピを複数運用している場合はリスクシミュレーションでロスカットレートが確認できます。

「レートを動かしてみる」でロスカットレートの値までレートを動かすと、証拠金維持率99%のときの評価損益が確認できますので、ロスカットが執行されたときに発生する損失額の目安として確認できます。

なお、複数銘柄取引している場合はロスカットレートが確認できないので、ロスカット見積額も確認できません。その場合は「レートを動かしてみる」などを利用して証拠金維持率や評価損益の変動を確認しましょう。

(PC) リスクシミュレーションの表示と活用

[https://qa.m2j.co.jp/faq/show/5023?site\\_domain=default](https://qa.m2j.co.jp/faq/show/5023?site_domain=default)

(アプリ) リスクシミュレーションの表示と活用

[https://qa.m2j.co.jp/faq/show/5649?site\\_domain=default](https://qa.m2j.co.jp/faq/show/5649?site_domain=default)

口座状況				
預託証拠金	5,000,000円			
証拠金維持率	2,396%			
評価損益	-13,678円			
必要証拠金	208,081円			
有効証拠金	4,986,322円			
総必要証拠金	1,625,676円			
ロスカットレート(概算)				
複数銘柄のポジションを保有していると算出できません				
ポジションサマリ				
銘柄	レート	売	買	評価損益
● 日本N225	39,501	-	51	-13,613
● 米国D30	44,000	(-)	1	-65

## FXとの運用・管理を考える

マネースクエアではFXとCFDの取引ができます。

本ガイドの最終章では、FXとCFDを両方取引することで、期待できるパフォーマンスやリスク管理の点のメリットを説明します。



※スマートフォンアプリ「トラリピFX/CFD」

## トラリピCFDとトラリピFXを比較

	トラリピCFD	トラリピFX
投資対象	株価指数 (2026年1月時点)	米ドル・ユーロ・豪ドル などの通貨
取引形態	店頭	店頭
取引時間	ほぼ24時間	ほぼ24時間
売買方法	売り/買い	売り/買い
レバレッジ	10倍 証拠金率10%	最大25倍 証拠金率4%以上 (個人口座の場合)
取引手数料	無料	無料
決済期限	なし	なし
必要な資金	証拠金以上 取引総代金×証拠金率	証拠金以上 取引総代金×証拠金率
ロスカット	トラリピCFDの証拠金維持率が 100%を下回ったら執行	トラリピFXの証拠金維持率が 100%を下回ったら執行

上の表を確認いただくと、トラリピFXとトラリピCFDは投資対象とレバレッジ以外は同じであることがわかります。

# 応用編 FXとの運用・管理を考える

トラリピFXは取引していますが、FXと一緒にCFDも取引することのメリットってありますか？

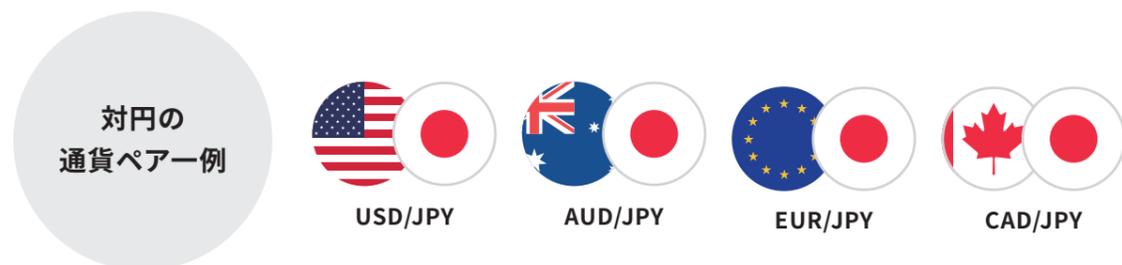


- ▶ FX以外への分散投資でリスクを分散
- ▶ FXよりも値動きの大きいCFDでパフォーマンスを追求

## FX以外への分散投資でリスクを分散

1つの通貨ペアや銘柄だけに集中して取引していると、その通貨ペア/銘柄で損が出る方向に動いた場合、一気に評価損が増え、維持率が下がるリスクがあります。こういった状況を防ぐためには、**分散投資**が効果的です。

分散投資は組み合わせが重要で、同じような動きをする通貨ペアや銘柄に分散していても、効果が見られません。しかしながら、FXの中での分散投資ですと、どうしても対円や対米ドルの通貨ペアが大半を占めることから、分散投資できる組み合わせが限られます。



円高・円安で  
レートが同じ方向に  
動きやすい

複数通貨ペア運用しても  
リスク分散できない可能性がある

そこで、FXだけではなく、CFDも加わることで、投資の選択肢の幅が広がり、分散投資がしやすくなります。

## FXとCFD口座は別管理の口座・維持率も別々なので、リスク管理しやすい

FX口座の維持率はCFD口座には無影響（CFD口座の維持率もFX口座には無影響）という事です。

(例)  
豪ドル/円の買いポジションと米国NQ100の買いポジションを  
保有していて、現在の口座状況が下表の場合

取引口座	ポジション	証拠金維持率	有効証拠金
トラリピFX	豪ドル/円(買い)	700%	200万円
トラリピCFD	米国NQ100(買い)	500%	100万円

豪ドル/円：レートが下落し、豪ドル/円の買いポジションに対して**評価損が拡大**  
米国NQ100：レートが上昇し、米国NQ100の評価益が発生

取引口座	ポジション	証拠金維持率	有効証拠金
トラリピFX	豪ドル/円(買い)	350%	100万円
トラリピCFD	米国NQ100(買い)	700%	140万円

FX:700% ▶ 350%に下落  
CFD:500% ▶ 700%に上昇

このようにFXとCFDで口座管理が分かれていますので、例えば万が一FXで100%を下回ってロスカットが執行された場合であってもCFD口座が100%以上の場合、CFD口座はロスカットされません。

口座が分かれているため、それぞれの口座でリスク管理を行うこととなります。

## 対円通貨ペアと米国株価指数を取引することで為替ヘッジも可能

(例)  
**米国D30の買いトラリピで**  
**200米ドルの利益金額を設定している場合において、**  
**米ドル/円=150円のととき、140円のととき**  
**円に換算した利益額を比較**



上記のような米国株価指数の場合、損益や証拠金は米ドル/円で円換算するため、例えば同じ利益金額(米ドル)のトラリピであっても、決済時の米ドル/円のレートによって円で受け取れる利益額が変わります。このような為替変動による損失を別の商品等を運用することで回避することを為替ヘッジといいます。

例えば米国株価指数であれば米ドル/円の売りポジション、英国F100であれば英ポンド/円の売りポジションを持つことが為替ヘッジとなります(売りポジションはポジションの取得価格よりもレートが下降することで利益が発生します)。

上記例と同じ米国D30の取引において、同時にFXにて米ドル/円の売りポジションを0.1万通貨(取得価格155円)保有していたとすると、下記ようになります。



このように、売りポジションを持つことで円高時の利益減少リスクが軽減することが期待できます。

ただし、下記のようなリスクがありますので、ご注意ください。

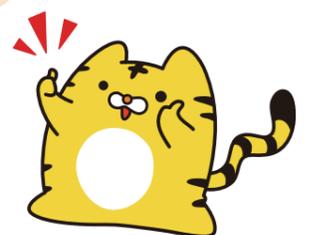
### 対円通貨ペアの売りポジションはスワップのお支払いに注意

スワップはFXのポジションにおいて付与される金利相当額のことです。例えば、米ドル/円の場合、米国と日本の金利差がスワップにあたりますが、米国の金利が高く、日本の金利が低い場合、その差額分がマイナス(お客様のお支払い)としてポジションに累積することとなります。

### 円安時は対円通貨ペアの売りポジションで評価損が拡大する

円安となりレート(米ドル/円など)が上昇し、売りポジションの取得価格よりレートが高くなると評価損が拡大するため注意が必要です。

リスク分散の仕方が  
FX・CFDのみの場合より広がるがう



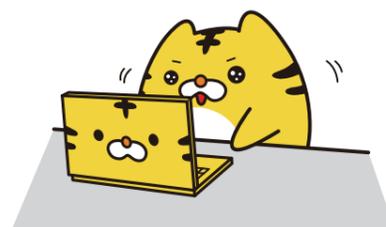
# 応用編 FXとの運用・管理を考える

**FXで1通貨ペア・CFDで1銘柄取引した場合、口座全体としては複数通貨(銘柄)ですが、ロスカットレートでリスク管理ができます。**

口座内で複数通貨ペア(銘柄)取引する場合、リスクシミュレーションなどでロスカットレートが確認できないという点があります。

※当社ではロスカットはあくまで証拠金維持率が100%を下回った場合に執行されるもの(ロスカットレートが設定されるわけではない)ですが、単一通貨ペア(銘柄)の場合、リスクシミュレーションなどを活用することで、証拠金維持率が100%になるレート(ロスカットレート)を確認することができます。

例えば下記のようにFX口座で単一通貨ペア、CFD口座で単一銘柄とすると、**FXとCFD併せて2つの商品を取引することができ、分散投資をしながらもロスカットレートでリスク管理することができます。**



## FXよりも値動きの大きいCFDでパフォーマンスを追求

FXは通貨の交換レートであり、例えば同じ経済圏の豪ドル/NZドルやノルウェークローネ/スウェーデンクローナなどの通貨ペアでは一定の範囲内でレートが動く(レンジ相場になりやすい)傾向があるものの、レートの動きが乏しいときもあります(それはそれで、リスク管理しやすいというメリットもありますが)。

一方で、トラリピCFDで取り扱っている株価指数は「個別株の集合体」であり、どの指数も採用の条件として「流動性の高さ」があげられています。

※ただし、FXと比較して大きく動くことによるリスクもあるので、ご注意ください。(詳しくはp.78)

FXとCFDのレートの動きについて、2025年1月~5月の月次の騰落表(始値・高値・安値・終値・高低差・総推移)を用いて比較してみます。

### 総推移とは

期間中に「トータルの値動き」がどれくらいあったのかを示すデータの名称です。当社では「4時間ごとの高低差を足し算」して総推移を算出しています。例えば、高低差(高値と安値の価格差)が大きくなっても、総推移が大きい場合、狭い範囲で値動きが多くあったということがわかります。総推移が大きいということは利益が得られる機会が多いということです。



## 応用編 FXとの運用・管理を考える



### 豪ドル/NZドル(月次)2025年

月間	始値	高値	安値	終値	高低差	総推移
2025/1	1.10271	1.10971	1.09880	1.10139	0.01091	0.20771
2025/2	1.10092	1.11692	1.09958	1.10899	0.01734	0.20019
2025/3	1.10935	1.11015	1.08976	1.10010	0.02039	0.19052
2025/4	1.09945	1.10259	1.06514	1.07848	0.03745	0.39646
2025/5	1.07848	1.09156	1.07520	1.07764	0.01636	0.25901



### 日本N225(月次)2025年

月間	始値	高値	安値	終値	高低差	総推移
2025/1	39,383	40,597	38,054	39,289	2,543	34,538
2025/2	38,607	39,594	36,835	37,558	2,759	27,559
2025/3	37,634	38,241	35,431	35,965	2,810	37,385
2025/4	35,937	36,433	30,300	36,242	6,133	62,663
2025/5	36,260	38,759	36,037	37,670	2,722	32,346

一般的なFXの取引ですと、米ドル/円が一番人気の取引ですが、トラリピFXでは豪ドル/NZドルといった、メジャーとはいえない通貨ペアですが、同じ経済圏の通貨同士でレンジ相場になりやすいものも人気です。

例えば、2025/1は高低差0.01091NZドル、総推移は0.20771NZドルでした。日本N225と比較しやすいように、円換算(NZドル/円=87円で換算)すると高低差0.94917円、総推移18.07077円となります。

1,000通貨で取引する場合、1円動くと損益は±1,000円変動しますので、総推移を×1,000円すると、18,070.77円となります。1,000通貨相当の総推移というイメージです。(ちなみに、豪ドル/NZドル=1.1NZドル、NZドル/円=87円で1,000通貨の証拠金を計算すると3,828円です)

同じ期間の日本N225は総推移が34,538円です。仮に日本N225=39,000円で1Lot取引する場合、証拠金は3,900円となりますので、上記の豪ドル/NZドルの1,000通貨の取引と証拠金と同じくらいの金額ですが、総推移は日本N225の方が2倍の大きさであるということがわかります。



まとめると  
こんな感じがう

	証拠金	総推移
豪ドル/NZドル	3,828円 (1,000通貨)	18,070.77円 (1,000通貨相当に換算)
日本N225	3,900円 (1Lot)	34,538円

約2倍

## リターンが期待できるからこそ、リスク管理をしっかり行おう

CFDは値動きが大きく、リターンが狙える機会が多い反面、損失が出る方向に大きく動く可能性もあります。トラリピCFDでは株価指数を投資対象としていますが、各銘柄ともその国の経済動向を表しているような指数となっており、過去には大きなショック相場(コロナショックやリーマンショックなど)で暴落したことがあります。

こういったリスクについて、事前に備えることが長く取引するうえで重要です。

### ショック相場に備える方法

ショック相場はいつ起こるかわかりません。入金したりポジションを決済する手段が取れずにロスカットとなる可能性もあります。このため事前に見積の損失額を確認して、取引量を予め調整することが大事です。

#### ✓ リスクシミュレーションで過去のショック相場時まで レートを動かして、損失額を確認する

→ もしそのときの損失額が大きいと感じた場合は取引量を減らす。

#### ✓ トラリピのリスクを試算やリスクシミュレーションで ロスカットレートを確認する

→ CFD口座でトラリピを1つだけ運用している場合は「トラリピのリスクを試算」、複数トラリピを仕掛けているけど、単一銘柄であれば「リスクシミュレーション」でロスカットレートを確認する。

※複数銘柄運用している場合は「ロスカットレート」が算出できません。



## FXとCFD口座の運用についてよくあるお問い合わせ

### Q. CFDの取引をしようとしたら、「CFD口座を持っていません」となりました。

簡単申込よりCFD口座の申請を行ってください。  
簡単申込はお客様専用ページ内「お客様情報」にあります。

### Q. FXの資金をCFDの口座に移動することはできますか？

できます。「証拠金振替」を行うことで即時資金を移動できます。

### Q. 確定申告の際、FXとCFDで出た損益は合算できますか？

合算できます。FXおよびCFDは「先物取引に係る雑所得等」に分類され、利益と損失を合算して損益額を算出します。



マネースクエアでは2002年より外国為替証拠金取引（FX）サービスを提供し、数多くのお客様の資産運用をサポートしてまいりました。

2015年にはCFD分野への参入として、取引所株価指数証拠金取引（くりっく株365）を開始※。そして、2024年に店頭CFDとしてトラリピCFDの取引サービスを開始しました。

※取引所株価指数証拠金取引（くりっく株365）については2024年12月にサービス終了いたしました。

まだまだ「マネースクエア＝FX」とイメージされる方も多いかもしれませんが、本ガイドをご活用いただき、皆様の資産運用の選択肢としてCFDをご検討いただけますと幸いです。

なお、FXがメインの内容とはなっていますが、トラリピの設定項目の説明やリスクシミュレーションの詳しい使い方などは別のトラリピ・パーフェクトガイドでご紹介していますので、よろしければ併せてご参照ください。



### 第1巻 トラリピを注文してみるの巻

[https://www.m2j.co.jp/sc/web/pdf/TORARIPI\\_GUIDE1.pdf](https://www.m2j.co.jp/sc/web/pdf/TORARIPI_GUIDE1.pdf)

トラリピの仕組みや設定項目について



### 第2巻 トラリピ上級者になろうの巻

[https://www.m2j.co.jp/sc/web/pdf/TORARIPI\\_GUIDE2.pdf](https://www.m2j.co.jp/sc/web/pdf/TORARIPI_GUIDE2.pdf)

トラリピのリスク管理ツールについて



### 第3巻 トラリピをメンテナンスしようの巻

[https://www.m2j.co.jp/sc/web/pdf/TORARIPI\\_GUIDE3.pdf](https://www.m2j.co.jp/sc/web/pdf/TORARIPI_GUIDE3.pdf)

トラリピの取消・修正などについて

最後まで読んでいただき  
ありがとうがう！



トラリピくんぬいぐるみ

## ■当社サービスに関する注意事項

- ・取引開始にあたっては契約締結前書面をよくお読みになり、リスク・取引等の内容をご理解いただいた上で、ご自身の判断にてお願いいたします。
- ・当社の店頭外国為替証拠金取引および店頭CFD取引は、元本および収益が保証されているものではありません。また、取引総代金に比較して少額の資金で取引を行うため、取引の対象となる金融商品の価格変動により、多額の利益となることもありますが、お客様が差し入れた証拠金を上回る損失が生じるおそれもあります。また、各金融市場の閉鎖等、不可抗力と認められる事由により店頭外国為替証拠金取引および店頭CFD取引が不能となるおそれがあります。
- ・店頭外国為替証拠金取引、店頭CFD取引における取引手数料は無料です。
- ・当社が提示するレートには、買値と売値に差（スプレッド）があります。流動性が低くなる場合や、天変地異または戦争等による相場の急激な変動が生じた場合、スプレッドが広がる場合があります。
- ・店頭外国為替証拠金取引に必要な証拠金額は、個人のお客様の場合、取引総代金の4%以上です。法人のお客様の場合、取引総代金に、金融先物取引業協会が算出した通貨ペアごとの証拠金率（為替リスク想定比率）を基に当社が算出した証拠金率を乗じた金額となります。為替リスク想定比率は、金融商品取引業等に関する内閣府令第117条第27項第1号に規定される定量的計算モデルを用い算出します。なお、証拠金率（為替リスク想定比率）は変動いたします。店頭CFD取引に必要な証拠金額は、取引総代金の10%です。

## 株式会社マネースクエア

〒107-6240 東京都港区赤坂9-7-1 ミッドタウン・タワー40F

金融商品取引業 関東財務局長（金商）第2797号【加入協会】日本証券業協会 一般社団法人 金融先物取引業協会

※2026年3月制定